

【FdData 高校入試：中学社会歴史：政治外交史(古代～近世)】

[\[政治史：古代～近世\]](#) / [\[政治史：明治以降\]](#) / [蝦夷・琉球・朝鮮史](#) / [歴史地図](#) /
[文化史：文化の特色](#) / [宗教](#) / [美術](#) / [建築・彫刻](#) / [文芸・学問](#) /
[産業経済史：農業・農村](#) / [土地制度・税制・農民統制](#) / [古代～近世の商工業・諸産業](#) /
[明治以降の産業・経済](#) / [FdData 入試製品版のご案内](#)]

[\[FdData 入試ホームページ\]](#)掲載の pdf ファイル(サンプル)一覧]

※次のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

社会：[\[社会地理\]](#)，[\[社会歴史\]](#)，[\[社会公民\]](#)

理科：[\[理科 1 年\]](#)，[\[理科 2 年\]](#)，[\[理科 3 年\]](#)

数学：[\[数学 1 年\]](#)，[\[数学 2 年\]](#)，[\[数学 3 年\]](#)

※全内容を掲載しておりますが、印刷はできないように設定しております

【】 政治外交史

【】 政治史：古代～近世

[問題]

次のア～ウを年代の古いものから順に、記号で答えよ。

ア 政治上の大きな改革がはじまり、わが国ではじめて年号が立てられた。

イ 蝦夷の支配のために坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命された。

ウ 九州の防備のために防人が派遣されるようになった。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→イ

[解説]

ア(飛鳥：大化の改新 645 年)→ウ(飛鳥：白村江の戦い 663 年のあとに防人を設置)→イ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷をうたせた)

[問題]

次のできごとを古い順にならべよ。

- ア 元が2度にわたり日本に襲来した。
- イ 小野妹子らが隋に派遣された。
- ウ 最澄と空海が唐に渡り仏教を学んだ。
- エ 平清盛が宋との貿易で利益をあげた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→エ→ア

[解説]

イ(飛鳥：聖徳太子が小野妹子を遣隋使として派遣 607年)→ウ(平安初期：710年に平安京遷都を行った桓武天皇の時代)→エ(平安末期：1167年に太政大臣になった平清盛の日宋貿易)→ア(鎌倉：元寇 1274年・1281年)

[問題]

ア～ウを年代の古い順に並べよ。

- ア 源頼朝は、国ごとに守護を、荘園や公領ごとに地頭をおくことを朝廷に認めさせた。
- イ 公家重視の政策が続いたため武士たちに不満が広がり建武の新政は2年ほどでくずれた。
- ウ 白河上皇によって院政が行われ、上皇は摂政・関白をおさえて政治の実権をにぎった。

(愛知県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ

[解説]

ウ(平安後期：白河上皇が院政を開始 1086年)→ア(鎌倉：守護・地頭の設置 1185年)→イ(建武の新政：後醍醐天皇 1334年)

[問題]

次のア～エを古いものから順に並べると、どのようになるか、その記号を書け。

- ア 幕府軍は、北九州に来襲した元軍の集団戦法とすぐれた火器により、苦戦をした。
- イ 後醍醐天皇は、幕府の滅亡後に、天皇を中心とする新たな政治を始めた。
- ウ 細川氏と山名氏が将軍のあとつぎ問題などをめぐり対立し、11年にわたる戦乱が始まった。
- エ 後鳥羽上皇は、幕府をたおそうと兵をあげたが、幕府軍に敗れた。

(三重県)

[解答欄]

[解答]エ→ア→イ→ウ

[解説]

エ(鎌倉：承久の乱 1221 年)→ア(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→イ(建武の新政：1334 年)→ウ(室町：応仁の乱 1467 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べよ。

- ア 将軍足利義政のときにおこり、11 年にわたって京都を中心に戦われたため、皇居や貴族・武家の屋敷などが焼失した。
- イ 元軍は、高麗の軍勢をもあわせて大軍で北九州に攻め入ったが、暴風雨により、大損害を受けて引きあげた。
- ウ 源実朝が暗殺されたのを好機とみた後鳥羽上皇らは、幕府をたおして朝廷の力をとりもどそうと兵をあげたが、幕府軍の前に敗れさった。
- エ 足利尊氏が京都に新たに天皇をたて、後醍醐天皇は吉野に朝廷をうつしたので、2 つの朝廷が対立し、全国的な戦乱となった。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

[解説]

ウ(鎌倉：承久の乱 1221 年)→イ(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→エ(室町：南北朝の争乱 1336 年～1392 年)→ア(室町：応仁の乱 1467 年)

[問題]

次のア～ウを古い順に並べ、その記号を書け。

- ア 摂政・関白という官職について政治の実権をにぎった藤原氏は、道長・頼通父子の時にその全盛期をむかえた。
- イ 京都で院政を行っていた後鳥羽上皇が挙兵し、朝廷の勢力回復を図ったものの、幕府軍に破れ逆に朝廷の権威が失墜することとなった。
- ウ 朝廷は、アテルイを指導者とする蝦夷の抵抗をおさえるため、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じ、胆沢地方を平定させた。

(青森県)

[解答欄]

[解答] ウ→ア→イ

[解説]

ウ(平安初期：桓武天皇が坂上田村麻呂に蝦夷を討たせる)→ア(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→イ(鎌倉：承久の乱 1221 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に左から並べて、その記号を書け。

ア 後醍醐天皇は天皇中心の政治をめざし、建武の新政をおこなった。

イ 正長の土一揆は各地の農村に広がり、幕府に借金帳消しの徳政令を求めた。

ウ 執権の北条泰時は、裁判の基準を御家人に示すために、御成敗式目(貞永式目)を制定した。

エ 織田信長は、家臣の明智光秀に京都の本能寺でおそわれ自害した。

(茨城県)

[解答欄]

[解答] ウ→ア→イ→エ

[解説]

ウ(鎌倉：御成敗式目 1232 年)→ア(建武の新政：1334 年)→イ(室町：正長の土一揆 1428 年)→エ(安土：本能寺の変 1582 年)

[問題]

次の A～E を年代の古い順に並べよ。

A 京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、朝廷の勢力の回復をはかって挙兵したが、幕府の大軍に敗れた。

B 民衆の間で行われていた田楽や猿楽をもとにして、世阿弥らが能を大成し、武家の社会で愛好された。

C 徳川家康は貿易の発展につとめ、海外への渡航を許可した。西国の大名や京都・長崎などの商人は、貿易船を派遣した。

D 大化の改新を行った中大兄皇子は、全国の戸籍をつくるなどの政治を進め、やがて即位して天智天皇となった。

E 平安京に都が移ると、仏教にも新しい動きが起こり最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ広めた。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]D→E→A→B→C

[解説]

D(飛鳥：大化の改新 645 年)→E(平安初期：桓武天皇の平安京遷都 710 年)→A(鎌倉：承久の乱 1221 年)→B(室町：観阿弥・世阿弥の能)→C(江戸初期：朱印船貿易)

[問題]

室町時代よりも前におきたできごとをア～エから 3 つ選び、年代の古い順に並べよ。

ア 朝鮮半島の百濟から、わが国の朝廷に仏像と仏教の経典がもたらされた。

イ 中国から、倭の奴国の王に金印がおくられた。

ウ 幕府は、オランダ船と中国船に、長崎での貿易を許可した。

エ 平清盛は、瀬戸内海の航路を整備し、中国との貿易を行った。

(北海道)

[解答欄]

[解答]イ→ア→エ

[解説]

イ(弥生：57 年)→ア(古墳：仏教伝来 538 年)→エ(平安末期：1167 年に太政大臣になった平清盛の日宋貿易)→ウ(江戸初期：鎖国の完成 1639 年)

[問題]

次のア～エを古い順に並べよ。

ア 長崎に人工の島(出島)が作られた。出島には外国人が住み、貿易に従事した。

イ 将軍足利義満が中国と貿易を行ったときに、正式な貿易船であることの証明として勘合が使用された。

ウ 聖武天皇の時代に贈られたものを正倉院に収納した。

エ ザビエルは宣教師として来日した。この頃からスペイン人、ポルトガル人が日本に現れ、鉄砲やキリスト教が各地にもたらされた。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

【解説】

ウ(奈良：遣唐使が持ち帰った宝物を正倉院に収納)→イ(室町：足利義満が勘合貿易を開始 1404 年)→エ(戦国：鉄砲伝来 1543 年，ザビエルの来日 1549 年)→ア(江戸：鎖国の完成 1639 年)

【問題】

年代の古いものから順に並べ，その符号を書け。

ア 武田信玄は，領国を支配するため，「甲州法度之次第」を定めた。

イ 足利義満は，南北朝を統一したのち，勘合貿易を始めた。

ウ 徳川家康は，関ヶ原の戦いに勝利して征夷大將軍に任じられた。

エ 北条時宗は，二度にわたる元の襲来をしりぞけた。

(新潟県)

【解答欄】

【解答】エ→イ→ア→ウ

【解説】

エ(鎌倉：元寇 1274 年・1281 年)→イ(室町：足利義満が勘合貿易を開始 1404 年)→ア(戦国)→ウ(江戸：徳川家康が征夷大將軍に任じられ江戸幕府を開く 1603 年)

【問題】

次の A～D を，時代の古い順に並べかえ，記号で答えよ。

A 北条泰時は，執権として幕府の基礎を固めた。

B 豊臣秀吉は，関白や太政大臣として政治の実権を握り，全国統一をなしとげた。

C 田沼意次は，老中として商工業重視の政策を行い，財政の立て直しをめざした。

D 藤原頼通は，摂政や関白として政治を行い，藤原氏の最もさかんな時期を築いた。

(山形県)

【解答欄】

【解答】D→A→B→C

【解説】

D(平安中期の摂関政治)→A(鎌倉：北条泰時が御成敗式目を制定 1232 年)→B(桃山：豊臣秀吉が全国統一 1590 年)→C(江戸：田沼意次の改革 1772 年)

[問題]

4人の人物について調べ、A～Dのカードを作った。A～Dを古いものから順に並びかえ、記号で書け。

- A 私は18世紀の末に、江戸幕府の老中になり、寛政の改革とよばれる政治改革を行った。
- B 私は蘇我馬子と協力して政治を行った。また、遣隋使を送って中国の政治制度や文化を取り入れた。
- C 私は室町幕府の3代将軍として、幕府権力を強化した。また、明との勘合貿易も始めた。
- D 私は遣唐使とともに唐へわたって仏教を学び、帰国後、新しい宗派である真言宗を広めた。

(京都府)

[解答欄]

[解答]B→D→C→A

[解説]

B(飛鳥：聖徳太子が摂政になる593年)→D(平安初期：桓武天皇の時代の空海)→C(室町：足利義満が勘合貿易を開始1404年)→A(江戸中期：松平定信の寛政の改革1787年)

[問題]

次のA～Dの時代を、時代の古い順に並べ、その記号を書け。

- A 足利義満は幕府に政治の実権を集中させた。
- B 太閤検地が行われた。
- C 将軍源頼朝の死後は、北条氏が政治の実権を握った。
- D 将軍徳川家光のころ、長崎に出島がつくられた。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]C→A→B→D

[解説]

C(鎌倉)→A(室町)→B(桃山)→D(江戸初期)

[問題]

A～E の人物を活躍した時代の古い順に並べよ。ただし、E が最も新しい時代に活躍した人物である。

- A 鎌倉を本拠地に定め、東国の武士を組織した。朝廷から征夷大將軍に任命されて、武士による政治を始めた。
- B 尾張を拠点とした勢力の小さい戦国大名であった。鉄砲を有効に使った戦法により、統一事業を大きく前進させた。
- C 60 年間にわたる南北朝の動乱をおさめ、幕府政治を安定させた。京都の北山の別荘に金閣を建てた。
- D 4 人の娘を天皇に嫁がせて、摂政として天皇に代わって政治を行い、摂関政治の全盛期を築いた。
- E 8 代將軍として、幕府の財政を立て直すための政治改革を行った。公事方御定書を定め、法律の整備を行った。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]D→A→C→B→E

[解説]

D(平安中期の摂関政治：藤原道長が摂政になる 1016 年)→A(鎌倉：源頼朝が征夷大將軍に任命される 1192 年)→C(室町：足利義満が南北朝合一 1392 年)→B(安土：織田信長)→E(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716 年)

[問題]

次の A～C のできごとを年代の古い順に並べ、その記号を左から書け。

- A 豊臣秀吉が全国を統一した。
- B 建武の新政の後、南北朝の争乱が続いた。
- C 天保の改革が行われた。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]B→A→C

[解説]

B(室町：南北朝の争乱 1336 年～1392 年)→A(桃山：豊臣秀吉の全国統一 1590 年)→C(江戸末期：水野忠邦の天保の改革 1841 年)

[問題]

次のア～エを、年代の古い順に並べ、その記号を書け。

- ア 幕府は、天皇や薩摩藩の支持を取り付け、急進派の公家や長州藩士を追放した。
- イ 後鳥羽上皇は朝廷の勢力回復を図って挙兵したが、幕府が大軍を率いて上皇側を破った。
- ウ 院政の実権をめぐる2つの戦乱が起こり、源氏と平氏がその争いに動員されて戦った。
- エ 守護大名間の争いに將軍のあとつぎ問題などがからみ、11年にわたる戦乱が始まった。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

[解説]

ウ(平安末期：保元の乱 1156年・平治の乱 1159年)→イ(鎌倉：承久の乱 1221年)→エ(室町：応仁の乱 1467年)→ア(幕末)

[問題]

次のア～エを、年代の古い順に並べ、その記号を書け。

- ア 享保の改革
- イ 天保の改革
- ウ 大政奉還
- エ 寛政の改革

(広島県)

[解答欄]

[解答]ア→エ→イ→ウ

[解説]

ア(江戸：徳川吉宗の享保の改革 1716年)→エ(江戸：松平定信の寛政の改革 1787年)→イ(江戸：水野忠邦の天保の改革 1841年)→ウ(幕末：大政奉還 1867年)

[問題]

次のA～Fを、時代の古い方から順に並べよ。

- A〔政治〕太閤検地を行う
- 〔外交〕南蛮貿易を行う
- B〔政治〕墾田永年私財法を出す
- 〔外交〕遣唐使
- C〔政治〕参勤交代の制度をつくる
- 〔外交〕鎖国の間も貿易を行う
- D〔政治〕執権政治を行う
- 〔外交〕文永の役が起こる
- E〔政治〕摂関政治を行う
- 〔外交〕宋と貿易を行う
- F〔政治〕南朝と北朝を統一する
- 〔外交〕明と貿易を行う

(福岡県)

[解答欄]

[解答]B→E→D→F→A→C

[解説]

B(奈良)→E(平安)→D(鎌倉)→F(室町)→A(桃山)→C(江戸)

[問題]

中国と日本との関係について、次のア～エのできごとを年代の古い順に並べかえ、その順に記号で書け。

ア 倭寇と区別をするために、勘合という合札の証明書を用いて、貿易を行った。

イ 日本は、唐の制度や文化を取り入れようと、遣唐使をたびたび送った。

ウ 倭の奴国の王が漢に使いを送り、皇帝から「漢委奴国王」の金印を授けられた。

エ 鎖国下でも、この国の船が長崎に入港し、生糸や絹織物などの品物を日本にもたらした。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→ア→エ

[解説]

ウ(弥生：57年)→イ(飛鳥・奈良・平安中期：630年～894年)→ア(室町：足利義満が勘合貿易を開始1404年)→エ(江戸：鎖国の完成1639年)

[問題]

次のA～Dを、年代の古いものから順に並べよ。

A 天皇を中心とした中央集権化を目指し、政府のしくみを強化した。藩を廃して府・県を置き、中央から府知事・県令が任命された。

B 将軍の補佐役である管領には、有力な守護大名が任命された。地方機関として、関東には鎌倉府が置かれた。

C 藤原氏は、娘を天皇のきさきにし、その子を天皇にたて、他の貴族を退けて政治の実権をにぎった。地方には、中央の貴族が国司として任命された。

D 源頼朝の死後、政治の中心は執権の地位にあった北条氏に移った。諸国には守護、公領・荘園には地頭が置かれた。

(高知県)

[解答欄]

[解答]C→D→B→A

[解説]

C(平安中期の摂関政治)→D(鎌倉)→B(室町)→A(明治)

[問題]

A～E を時代の古いものから順に並べ、その符号を書け。

- A 幕府により鎖国政策がとられていたが、中国や朝鮮との交流は続いていた。
- B 中国や朝鮮半島から移住した渡来人により、漢字や仏教、新しい技術などが伝えられた。
- C 宋にわたった僧によって新しい仏教が伝えられ、武士の間に広まった。
- D 遣唐使が停止され唐との正式な国交がなくなり、文化の国風化が進んだ。
- E 日露戦争における日本の勝利は、アジア諸国の民族独立の動きに影響を与えた。

(石川県)

[解答欄]

[解答]B→D→C→A→E

[解説]

B(古墳：朝鮮半島から渡来人が移住)→D(平安中期：遣唐使の停止 894 年)→C(鎌倉：鎌倉仏教の中の禅宗)→A(江戸初期：鎖国の完成 1639 年)→E(明治：日露戦争 1904 年)

[問題]

次のア～エは武士がどのように変わっていったかをまとめたものである。年代の古い順に左から並べて書け。

- ア 開発した領地を中央の貴族などの荘園とし、荘官となって勢力を築くようになった。
- イ 石高で知行をあたえられ、それに応じた軍役が義務づけられた。
- ウ 荘園領主の使者を追い出し、年貢をうばう悪党とよばれる武士があらわれた。
- エ 地頭となった武士の中には、荘園の年貢を請け負う者もあらわれた。

(福島県)

[解答欄]

[解答]ア→エ→ウ→イ

[解説]

ア(平安後期：「荘園」「荘官」より判断)→エ(鎌倉：「地頭」より判断)→ウ(鎌倉後半～南北朝～室町：「悪党」より判断)→イ(桃山・江戸：「石高」より判断)

[問題]

次のア～エは、武士による政治のようすについて述べたものである。時期の古いものから順に記号を並べよ。

- ア 大名を統制するために幕府は、親藩や譜代大名を関東や近畿地方などの重要な地域に、外様大名を江戸から遠い地域に配置した。また、武家諸法度を定め、参勤交代を義務づけた。
- イ 幕府は将軍を補佐する役職として管領を設置し、有力な守護を任命した。また、地方機関として鎌倉には、関東の10か国を統治する鎌倉府が設置された。
- ウ 将軍は家来となった御家人に、御恩として領地の支配を保障したり、守護や地頭に任命したりした。御家人は奉公として一族を率いて戦いに参加したり、京都などを警備したりした。
- エ 下剋上の風潮のなかで、実力で領地を支配した戦国大名は、家臣や商工業者を集めて城下町をつくり政治や経済の中心とした。また、分国法という独自の決まりを定めるものもいた。

(東京都)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→エ→ア

[解説]

ウ(鎌倉：「御恩」「奉公」「守護や地頭」より判断)→イ(室町：「管領」「鎌倉府」より判断)→エ(戦国：「下剋上」「戦国大名」より判断)→ア(江戸：「親藩や譜代大名」「武家諸法度」「参勤交代」より判断)

[問題]

ア～ウを、時期の古い順に並べ、記号で答えよ。

- ア 下剋上の風潮が広がり、地方の武士のなかには、実力で一国の支配者になる者もあった。
- イ 元寇のための負担や、分割相続の繰り返しなどによって、御家人の生活は苦しくなった。
- ウ 守護の多くは、権限が強まるなかで、国内の武士を従えて守護大名へと成長していった。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→ア

[解説]

イ(鎌倉：「元寇」より判断)→ウ(室町(南北朝)：「守護大名へと成長」より判断)→ア(戦国：「下剋上」より判断)

【】政治史：明治以降

【問題】

次のア～エを年代の古いものから順に並べよ。

- ア 薩摩藩と長州藩は、坂本龍馬のなかだちで、薩長同盟を結んだ。
- イ 政府は廃藩置県を行い、各県に県令を任命した。
- ウ 井伊直弼は、水戸藩の浪士らにより、桜田門外で暗殺された。
- エ 政府は、税収の安定をはかるため、地租改正を実施した。

(新潟県)

【解答欄】

【解答】ウ→ア→イ→エ

【解説】

ウ(幕末：1860年)→ア(幕末：1866年)→イ(明治：1871年)→エ(明治：1873年)

【問題】

次のア～エを年代の古い順に並べよ。

- ア 「ええじゃないか」が流行した。
- イ 第1回帝国議会議員選挙が行われた。
- ウ 初めての官営工場が富岡に完成した。
- エ 富山県で米騒動がおこった。

(富山県)

【解答欄】

【解答】ア→ウ→イ→エ

【解説】

ア(幕末：1867年)→ウ(明治初期：1872年(明治5年))→イ(明治中期：1890年(明治23年))→エ(大正：1918年)

【問題】

下関条約以前におこった東アジアのできごととはどれか。次のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

- ア ロシア・ドイツ・フランスが、獲得した領土を清に返すように日本にせまった。
- イ 清では、外国勢力に反対する運動がさかんになり、義和団が各国の公使館を包囲した。
- ウ 日本は、清における権益を守りたいイギリスと同盟を結んで、ロシアに対抗した。
- エ 朝鮮では、日本と欧米諸国の排斥や国内の政治改革をめざす甲午農民戦争がおきた。

(長野県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エ(甲午農民戦争 1894 年)→日清戦争 1894 年→下関条約 1895 年→ア(三国干渉 1895 年)→イ(義和団事件 1900 年)→ウ(日英同盟 1902 年)

[問題]

次のア～エは、近代の鉄道にかかわることがらである。年代の古い順に並べかえ、その順に記号で書け。

- ア 九州で西南戦争がおこると、政府は九州に向かう兵士たちを港まで輸送するため、鉄道を利用した。
- イ 第一次世界大戦中、日本は中国に二十一か条の要求を出し、南満州鉄道の租借期限の延長などを求めた。
- ウ 関東大震災後、東京では郊外の宅地開発が進み、通勤のため、多くの人々が鉄道を利用するようになった。
- エ ポーツマス条約により、ロシアから長春以南の鉄道利権を得た日本は、満州経営を本格化した。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ア→エ→イ→ウ

[解説]

ア(明治初期：西南戦争 1877 年)→エ(明治後期：日露戦争→ポーツマス条約 1905 年)→イ(大正：対華二十一か条の要求 1915 年)→ウ(大正：関東大震災 1923 年)

[問題]

次のア～オを年代の古い順に並べよ。ただし、オは 3 番目になる。

- ア 普通選挙法が成立する。
- イ 大日本帝国憲法が発布される。
- ウ 米騒動がおこる。
- エ 自由民権運動がおこる。
- オ 関税自主権が完全に回復される。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]エ→イ→オ→ウ→ア

[解説]

エ(明治初期:民撰議院設立の建白書 1874 年)→イ(明治中期:大日本帝国憲法 1889 年)→オ(明治後期:関税自主権の回復 1911 年)→ウ(大正:米騒動 1918 年)→ア(大正:普通選挙法 1925 年)

[問題]

年代の古い順に並べかえ、その順に記号で書け。

ア 世界平和と国際協調をうたう国際連盟が誕生し、日本は常任理事国となった。

イ アメリカでの株価の暴落をきっかけに世界恐慌がおこった。

ウ シベリア出兵による米の買いしめから米価がはね上がったため、米騒動が全国に広がった。

エ ロシアが中国東北部を事実上占領し、韓国へも進出したため、日露戦争が始まった。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]エ→ウ→ア→イ

[解説]

エ(明治後期:日露戦争 1904 年)→ウ(大正:米騒動 1918 年)→ア(大正:国際連盟 1920 年)→イ(昭和:世界恐慌 1929 年)

[問題]

1880 年代後半の日本のできごととして最も適当なものを、ア～エから 1 つ選び、符号を書け。

ア 大日本帝国憲法が発布された。

イ 治安維持法が制定された。

ウ 王政復古の号令が発せられた。

エ 国家総動員法が制定された。

(大分県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

ウ(幕末:王政復古の大本令 1867 年)→ア(明治中期:大日本帝国憲法発布 1889 年)→イ(大正:治安維持法 1925 年)→エ(昭和:国家総動員法 1938 年)

[問題]

わが国の繊維工業は、明治時代における産業革命の中心として発展した。わが国の産業革命に先がけて 1882(明治 15)年に大阪に設立された民間の紡績会社は、イギリス製の紡績機を取り入れ、高い利益をあげた。次のうち、この紡績会社が設立されたころのわが国のできごとについて述べた文として正しいものはどれか。1 つ選び、記号を書け。

- ア 原敬が首相となり、本格的な政党内閣が成立した。
- イ 日米和親条約が結ばれ、下田と函館の 2 港が開かれた。
- ウ 議会政治の確立をめざした大隈重信は、立憲改進黨を結成して党首となった。
- エ 政府が地主の土地を買い上げて小作人に安く売りわたす農地改革が行われた。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

イ(幕末:日米和親条約 1854 年)→ウ(明治中期:立憲改進黨結成 1882 年)→ア(大正:原敬の政党内閣 1918 年)→エ(昭和(戦後):農地改革 1946 年)

[問題]

次のア～ウをおこった順に並べよ。

- ア 五・一五事件がおこる。
- イ 大政翼賛会ができる。
- ウ 普通選挙法が制定される。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ

[解説]

ウ(大正:普通選挙法 1925 年)→ア(昭和:五・一五事件 1932 年)→イ(昭和:大政翼賛会 1940 年)

[問題]

ア～ウについて年代の古いものから順に書け。

- ア 米騒動の直後に、原敬が首相となった。
- イ 政党は解散し、大政翼賛会にまとめられた。
- ウ 五・一五事件によって、政党政治はとだえた。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→イ

[解説]

ア(大正:原敬内閣成立 1918年)→ウ(昭和:五・一五事件 1932年)→イ(昭和:大政翼賛会 1940年)

[問題]

A～D を古い順に並べよ。

- A 沖縄戦の始まり
- B 広島・長崎への原爆投下
- C 五・一五事件
- D 沖縄の日本復帰

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]C→A→B→D

[解説]

C(昭和:五・一五事件 1932年)→A(昭和:太平洋戦争末期の沖縄戦 1945年3月)→B(昭和:太平洋戦争末期の広島・長崎への原爆投下 1945年8月)→D(昭和(戦後):沖縄の日本復帰 1972年)

[問題]

次のア～エを年代の古い方から順に、符号で並べよ。

- ア アメリカが施政権をにぎっていた沖縄の日本への復帰が実現した。
- イ 日本は48か国との間に、サンフランシスコ平和条約を調印した。
- ウ 日ソ共同宣言が出されたのち、日本が国際連合に加盟した。
- エ 日本国憲法が公布され、翌年から施行された。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]エ→イ→ウ→ア

[解説]

エ(日本国憲法公布 1946 年)→イ(サンフランシスコ平和条約 1951 年)→ウ(日ソ共同宣言→国際連合加盟 1956 年)→ア(沖縄の日本への復帰 1972 年)

[問題]

次の A～D のできごとを、年代の古い順に並べよ。

- A 国会開設を要求する文書が国会期成同盟によって作成され政府に提出され。
- B 北京郊外の盧溝橋で日本と中国の軍隊が衝突する事件が起こった。
- C 「元始、女性は太陽であった」のことばが載った青鞆社の雑誌が創刊された。
- D 日本は、三国干渉によって関係が悪化していたロシアに対抗するため、イギリスと同盟を結んだ。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]A→D→C→B

[解説]

A(明治中期：国会期成同盟 1880 年)→D(明治後期：日英同盟 1902 年)→C(大正：平塚らいてうの青鞆社)→B(昭和：日中戦争 1937 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に書け。

- ア 日本は、ワシントン会議により海軍の軍備を制限し、山東半島の権益を中国に返した。
- イ 日本は、ドイツ、イタリアと日独伊三国同盟を結ぶいっぽう、ソ連と中立条約を結んだ。
- ウ ロシアでは皇帝が退位し、レーニンの指導のもと、社会主義の政府ができた。
- エ 日本は、江華島事件をきっかけに、朝鮮と日朝修好条規を結んだ。

(福島県)

[解答欄]

[解答]エ→ウ→ア→イ

[解説]

エ(明治初期：日朝修好条規 1876 年)→ウ(大正：ロシア革命 1917 年)→ア(大正：ワシントン会議 1921 年)→イ(昭和：日独伊三国同盟 1940 年)

[問題]

次のア～エのできごとを，年代の古い順に並べよ。

- ア 日本は，ドイツ，イタリアとの結束を強化するため，三国間の同盟を結んだ。
- イ 日本は，ロシアの進出に対抗するため，利害の一致したイギリスと同盟を結んだ。
- ウ 日本は，ワシントン会議に参加し，アメリカなどとの間で，海軍力を制限する条約を結んだ。
- エ 日本は，長春以南の南満州の鉄道の権益をロシアから譲り受ける条約を結んだ。

(北海道)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ウ→ア

[解説]

イ(明治後期：日英同盟 1902 年)→エ(明治後期：日露戦争→ポーツマス条約 1905 年)→ウ(大正：ワシントン会議 1921 年)→ア(昭和：日独伊三国同盟 1940 年)

[問題]

次のア～エを年代の古いものから順に並びかえ，記号で書け。

- ア 日英同盟を結ぶ。
- イ 満州事変が始まる。
- ウ 三国干渉を受ける。
- エ 関税自主権を完全に回復する。

(京都府)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→エ→イ

[解説]

ウ(明治後期：三国干渉 1895 年)→ア(明治後期：日英同盟 1902 年)→エ(明治後期：関税自主権の回復 1911 年)→イ(昭和：満州事変 1931 年)

[問題]

次のア～エを古い順に並べよ。

- ア 我が国は，アメリカで開かれたサンフランシスコ講和会議で独立を回復した。
- イ 我が国は，アメリカの真珠湾を攻撃し，太平洋戦争が始まった。
- ウ 我が国は，アメリカと修好通商条約を結び，神奈川(横浜)などを開港した。
- エ 我が国は，アメリカと新しい安全保障条約(改定安全保障条約)を結んだ。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]ウ→イ→ア→エ

[解説]

ウ(幕末:日米修好通商条約 1858 年)→イ(昭和(戦前):太平洋戦争の開始 1941 年)→ア(昭和(戦後):サンフランシスコ講和会議 1951 年)→エ(昭和(戦後):新安保条約 1960 年)

[問題]

ア～エの出来事を古い順に並べ、記号で答えよ。

ア 満州国 イ 日ソ共同宣言 ウ 日露戦争 エ シベリア出兵

(福井県)

[解答欄]

[解答]ウ→エ→ア→イ

[解説]

ウ(明治後期:日露戦争 1904 年)→エ(大正:シベリア出兵 1918 年)→ア(昭和(戦前):満州事変 1931 年→満州国)→イ(昭和(戦後):日ソ共同宣言 1956 年)

[問題]

辛亥革命以降の日本と中国の関係について、次のア～エを起こった順に並べ、その符号を書け。

ア 日本が中国に対して二十一か条の要求を出す。

イ 日中平和友好条約が結ばれる。

ウ 中国で五・四運動が起こる。

エ 日中戦争が始まる。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→エ→イ

[解説]

ア(大正:二十一か条の要求 1915 年)→ウ(大正:五・四運動 1919 年)→エ(昭和(戦前):日中戦争 1937 年)→イ(昭和(戦後):日中平和友好条約 1978 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べかえ，その順に記号で書け。

- ア 中国における内戦の結果，中華人民共和国が成立した。
- イ 中国の奉天郊外の柳条湖で，鉄道線路が爆破される事件がおこった。
- ウ 日中共同声明が発表され日本と中国の国交が正常化した。
- エ 中国の北京郊外の盧溝橋で，日本軍と中国軍の武力衝突がおこった。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ア→ウ

[解説]

イ(昭和(戦前)：満州事変 1931 年)→エ(昭和(戦前)：日中戦争 1937 年)→ア(昭和(戦後)：中華人民共和国の成立 1949 年)→ウ(昭和(戦後)：日中共同声明 1972 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べて書け。

- ア 広島と長崎に原子爆弾が投下され，その間にソ連が参戦した。
- イ 日本はハワイの真珠湾を奇襲し，東南アジアでもマレー半島に上陸した。
- ウ 日本は民主化をめざし，その改革の中心として憲法の改正を行った。
- エ 日本はサンフランシスコ平和条約を締結し，同時に日米安全保障条約を結んだ。

(福島県)

[解答欄]

[解答]イ→ア→ウ→エ

[解説]

イ(昭和(戦中)：太平洋戦争の勃発 1941 年)→ア(昭和(戦中)：広島と長崎に原子爆弾 1945 年)→ウ(昭和(戦後)：日本国憲法公布 1946 年)→エ(昭和(戦後)：サンフランシスコ平和条約 1951 年)

[問題]

次のア～ウを時代の古い順にならべかえて，記号で答えよ。

- ア 日中平和友好条約を結んだ。
- イ 日本が国際連合に加盟した。
- ウ 沖縄が日本に復帰した。

(島根県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→ア

[解説]

イ(日本が国際連合に加盟 1956年)→ウ(沖縄の日本復帰 1972年)→ア(日中平和友好条約 1978年)

[問題]

戦争は人々に大きな影響を与える。次のア～エは、過去の戦争が日本の国民生活や経済に与えた影響について述べたものである。ア～エを年代の古い順に左から並べて書け。

ア 戦争の犠牲の大きさに比べ日本の得た権益が少なかったとして、東京では民衆が日比谷焼き打ち事件をおこした。

イ 中東でおこった戦争による石油危機をきっかけに、わが国では省エネルギーが進んだ。

ウ 大戦景気とよばれる好景気となったが、物価上昇は労働者や零細農民を苦しめた。

エ 国家総動員法が公布され、産業・経済から国民生活のすべてにわたって戦争に動員された。

(福島県)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→エ→イ

[解説]

ア(明治後期：日露戦争 1904年→ポーツマス条約→日比谷焼き打ち事件 1905年)→ウ(大正：第一次世界大戦 1914年による好景気)→エ(昭和(戦前)：国家総動員法 1938年)→イ(昭和(戦後)：石油危機 1973年)

[問題]

第二次世界大戦終了後のできごとであるア～エを古い順に並べかえ、符号で書け。

ア 東南アジア諸国連合(ASEAN)が結成された。

イ 朝鮮半島で、朝鮮戦争が始まった。

ウ 中東でおきた戦争をきっかけに石油ショックが起こった。

エ 日本が国際連合に加盟し、国際社会に復帰した。

(大分県)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ア→ウ

【解説】

イ(朝鮮戦争 1950 年)→エ(日本が国際連合に加盟 1956 年)→ア(ASEAN の結成 1967 年)→ウ
(石油ショック(石油危機)1973 年)

【問題】

次のア～エのできごとを，年代の古いものから順に並べ，その記号を書け。

ア ポツダム宣言の受諾

イ 東西ドイツの統一

ウ 東京オリンピックの開催

エ 沖縄の日本への復帰

(高知県)

【解答欄】

【解答】ア→ウ→エ→イ

【解説】

ア(ポツダム宣言の受諾 1945 年)→ウ(東京オリンピック 1964 年)→エ(沖縄の日本への復帰
1972 年)→イ(東西ドイツの統一 1990 年)

【】 蝦夷・琉球・朝鮮史

[問題]

8～9世紀の東北地方について述べた文として最も適当なものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

ア 松前氏がアイヌの人たちとの取引を独占し、利益を得た。

イ 朝廷は、東北地方の蝦夷に対してしばしば大軍を送り、その勢力を広げた。

ウ 平泉を根拠地とした奥州の豪族藤原氏は、砂金や馬などの産物によって栄えた。

エ 日本海側や太平洋側の海運が発達し、東北地方の産物が大阪や江戸に運ばれた。

(島根県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

東北地方の人々は、奈良時代ぐらまでは、蝦夷とよばれ異民族あつかいにされてきた。奈良時代の8世紀ごろ、蝦夷の社会でも有力な豪族が生まれ、8世紀の終わりに蝦夷の反乱が起こるようになってきた。794年に平安京に都を移した桓武天皇は、坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷の指導者アテルイの反乱をおさえさせ、9世紀の初めまでには、東北地方のほとんどを律令国家の支配下においた。11世紀後半には、源義家が東北地方の大きな戦乱をしずめたが、その後、奥州藤原氏が3代100年間にわたり、平泉を中心に栄えた。浄土信仰の影響を受けた平泉の中尊寺金色堂は有名である。北方との交易や砂金の産出で栄えた奥州藤原氏は、源頼朝によって滅ぼされた。イ(平安時代初期)→ウ(平安時代後期)→ア・エ(江戸時代)

[問題]

ロシアの使節が根室に来て、漂流民をとどけ、通商を求めたのは、次のどの時期におこったできごとか。正しいものを、下のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

- ① 現在の北海道(蝦夷地)は、古代において律令国家の支配が及んでいなかった。この地では古くからアイヌ民族が狩猟・漁業や交易を行っていた。
- ② 中世には、本州から蝦夷地に渡った人びと(和人)が、アイヌの人たちを圧迫した。15世紀には、アイヌの人たちが大首長を中心に蜂起した。
- ③ 蝦夷地の南部に領地をもつ松前藩は、アイヌの人たちとの取引を独占し大きな利益を得た。17世紀後半、シャクシャインを中心とした蜂起があった。
- ④ 日米和親条約が結ばれ、開港することが決まった蝦夷地の函館では、アメリカ船に食料・水・石炭などを提供した。
- ⑤ 蝦夷地が北海道と改められ西洋技術を取り入れて開拓事業が始まった。そして、品種の改良などにより、稲作も少しずつ広まった。

[ア ①と②の間 イ ②と③の間 ウ ③と④の間 エ ④と⑤の間]

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

現在の北海道は、明治時代より前は蝦夷とよばれアイヌ人が生活しており、朝廷・幕府の支配は、そのほとんどの土地におよんでいなかった。江戸時代の初期、蝦夷地南部に領地をもつ松前藩は、アイヌ人との取引を独占し暴利をむさぼっていた。これに対して、アイヌ人は17世紀の後半シャクシャインを指導者として戦いを起こした。松前藩は幕府に助けを求めて、ようやくこれをしずめた。江戸時代18世紀後半、松平定信が寛政の改革を行っていたころ、ロシアの使節が根室に来て、漂流民をとどけ、通商を求めたが、幕府はこれを断った。ロシアの接近を警戒した幕府は、間宮林蔵らに蝦夷地や樺太を探検させた。明治時代になって、札幌に開拓使という役所を設置し、屯田兵などを使って北海道の開拓を急いだが、これは、ロシアより先にこの地をおさえるためであった。

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べよ。

- ア 琉球は中国との貿易を継続したまま、薩摩藩の支配下に入った。
- イ 日本は軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して、沖縄県を設置した。
- ウ 尚氏が沖縄の3つの王国を統一して琉球王国を建て、首里を都とした。
- エ 日本は琉球を日本の領土として確定しようとし、琉球藩を設置した。

(北海道)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→エ→イ

[解説]

沖縄では、日本の室町時代、15世紀はじめに尚氏が沖縄本島を統一して琉球王国を建て首都の首里に首里城を築いた。琉球王国は、日本や中国・朝鮮、東南アジアの国々を相手に中継貿易を行い、海上交通の要衝として繁栄した。江戸時代になって、17世紀の初め、琉球は薩摩藩に征服され、薩摩藩の支配下にはいった。薩摩藩は、年貢米を取り立てるなど、きびしく監督を行い、琉球王国の中国に対する朝貢貿易を継続させて大きな利益を横取りした。琉球王国は、国王や日本の将軍の代わりごとに、江戸に使節を派遣した。明治になって、日本は琉球王国を併合して琉球藩とし、さらに、軍隊の力を背景に琉球藩を廃止して、沖縄県を設置した。

[問題]

次のできごとを古い順に並べよ。

- ア 薩摩藩の島津氏による琉球支配がはじまった。
- イ アメリカ合衆国の統治が終わり、沖縄が日本に返還された。
- ウ 尚氏によって琉球が統一された。
- エ 琉球藩が廃止され沖縄県がおかれた。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→エ→イ

[問題]

琉球王国や沖縄について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 江戸時代、琉球は国王や将軍の代わりごとに、幕府に使節を派遣した。
- イ 明治政府は1872年に琉球藩を置き、その後、軍隊の力を背景にして、琉球藩を廃止して沖縄県を設置した。
- ウ 太平洋戦争における沖縄戦でははげしい戦闘が行われ、子どもや学生をふくめ多数の犠牲者を出した。
- エ 沖縄は、サンフランシスコ平和条約調印とともにアメリカから返還されたが、その後もアメリカ軍基地は残された。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

太平洋戦争における沖縄戦でははげしい戦闘が行われ、子どもや学生をふくめ多数の犠牲者を出した。戦後、日本はアメリカの占領下におかれた。1951年のサンフランシスコ平和条約によって独立を回復したが、沖縄はアメリカの施政権下におかれることになった。1972年に、沖縄がアメリカから返還された。

[問題]

沖縄の歴史について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選んで記号で答えよ。

- ア 15世紀はじめ、尚氏が琉球王国を建て、中継貿易に活躍した。
- イ 江戸時代には、中国と薩摩藩の両方に従い、幕府に使節をつかわした。
- ウ 明治時代はじめ、政府は軍隊の力を背景に、日本領に組み入れた。
- エ サンフランシスコ平和条約が結ばれたことにより、日本への復帰を果たした。

(島根県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

平清盛が太政大臣になったころの朝鮮半島のようすについて述べているものを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 高句麗が勢力を伸ばし、百済と新羅もできた。
- イ 新羅が勢力を伸ばし、百済や高句麗を滅ぼした。
- ウ 新羅が滅んだ後にできた高麗が勢力を伸ばした。
- エ 高麗が滅んだ後にできた朝鮮が勢力を伸ばした。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

古墳時代のころ、朝鮮半島では高句麗、新羅、百済の3国が、互いに勢力を争っていた。大和政権は、百済や、小国が分裂していた朝鮮半島南部の伽耶(任那)地方の国々と結んで、高句麗や新羅と戦った。7世紀の初め、中国では隋にかわって唐が中国を統一したが、この唐と結んだ新羅は、高句麗や百済を滅ぼした。大化の改新を行った中大兄皇子は、百済を助けるために大軍を送ったが、663年の白村江の戦いで敗れた。その後、新羅は、唐の軍隊をも追い出して朝鮮半島を統一した。平安時代の半ば、894年に遣唐使が廃止されたが、そのわずか後の10世紀初めに唐は滅亡した。そのすぐ後、新羅が滅んで高麗がこれにかわった。その後、高麗は約400年間続いたが(日本では平安→鎌倉→室町)、室町時代に足利義満が明との間に勘合貿易を始めたころに、倭寇を撃退して名声をあげた李成桂が高麗を倒して朝鮮国を建国した。朝鮮語を書き表すハングルという文字がつくられた。

[問題]

わが国と朝鮮とのかかわりについて述べた①～④の文について、年代の古い順に並べ替えよ。

- ① 江華島事件をきっかけに、日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。
- ② 将軍の代が変わるごとに就任祝いの外交使節として、朝鮮通信使がやってきた。
- ③ 大韓民国と日韓基本条約を結び、国交を正常化した。
- ④ 朝鮮戦争がおこると、特需が生まれ日本経済は好景気となり、経済復興が進んだ。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]②→①→④→③

[解説]

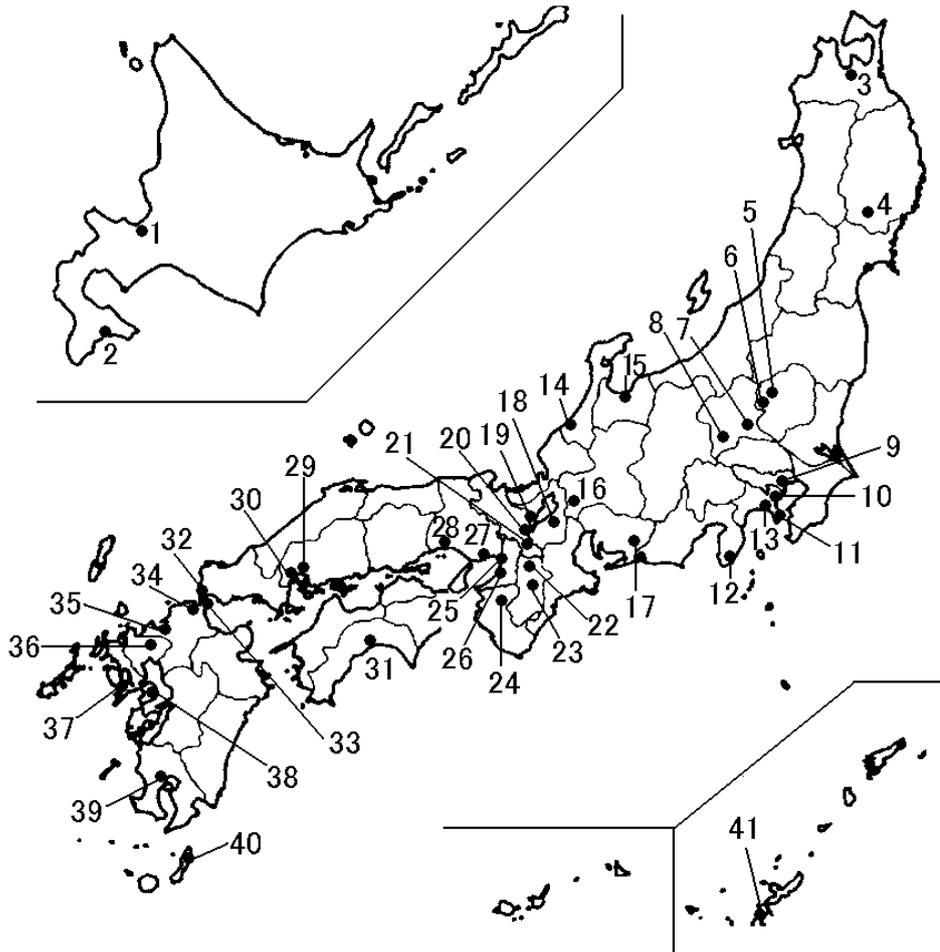
室町時代のころに高麗を滅ぼして 1392 年に建国された朝鮮は、1910 年に日本に併合されるまで約 500 年間続いた。この間、16 世紀末に豊臣秀吉の朝鮮侵略があったが、江戸時代の初め、徳川家康の時代に日本と講和を結び、将軍の代が変わるごとに就任祝いの外交使節として、朝鮮通信使がやってきた。

日本が明治維新によって、近代化を始めた後、両国の関係は大きく変わっていった。明治初期に、朝鮮の開国を武力でせまろうとする征韓論が西郷隆盛らによって主張されたが、1875 年の江華島事件をきっかけに、日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。その後、日本と中国は朝鮮に対する主導権をめぐる対立し、1894 年に東学を信仰する朝鮮農民が起こした甲午農民戦争をきっかけにして、日清戦争がおこり、日本は勝利をおさめた。この当時、ロシアは南下政策をとっており、しだいに、中国や朝鮮へ勢力をのぼしつつあった。朝鮮がロシアの手に落ちれば、対馬海峡を隔てたすぐそばにある日本が危うくなると考えた日本は、1902 年にイギリスと日英同盟を結び、1904 年に日露戦争のやむなきにいたった。日本は、日露戦争後、韓国統監府を置いて朝鮮の植民地化を進めた。初代の韓国統監になった伊藤博文が、朝鮮人の安重根に暗殺された後、1910 年に韓国併合を行った。学校では朝鮮史を教えることを禁じ、日本史や日本語を教えて、日本人に同化させる教育をおこなった。また、朝鮮の人々の姓名を、日本式に改めさせる創氏改名をおし進めた。日本の支配は太平洋戦争に日本が敗れるまで続いた。

朝鮮は、日本の敗戦により植民地から解放されたが、北緯 38 度線より北をソ連に、南をアメリカに占領され、1948 年には、北に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が、南に大韓民国(韓国)がつけられた。1950 年、北朝鮮が韓国に侵攻して朝鮮戦争が始まった。日本は、1965 年に大韓民国と日韓基本条約を結び、国交を正常化した。

【】 歴史地図

[要点]

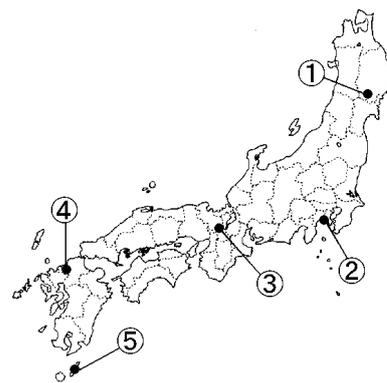


- 1 札幌(明治初期：開拓使)
- 2 函館(幕末：日米和親条約(1854年)・日米修好通商条約(1858年)で開港)
- 3 三内丸山遺跡(縄文時代の遺跡)
- 4 平泉(平安末期：奥州藤原氏の中尊寺金色堂)
- 5 日光(江戸初期：日光東照宮)
- 6 足尾銅山(明治：田中正造)
- 7 岩宿遺跡(旧石器時代の遺跡)
- 8 富岡(明治初期：官営模範工場の富岡製糸場)
- 9 江戸(江戸：江戸幕府)
- 10 横浜(幕末：日米修好通商条約で開港)
- 11 浦賀(幕末：ペリーの来航(1853年))
- 12 下田(幕末：日米和親条約で開港)
- 13 鎌倉(鎌倉：鎌倉幕府)
- 14 加賀(室町：加賀の一向一揆(1488年))

- 15 富山(大正：米騒動(1918年))
- 16 関ヶ原(桃山～江戸：関ヶ原の戦い(1600年))
- 17 長篠(安土：長篠の戦いで織田信長が武田氏を破る)
- 18 安土城(安土：織田信長)
- 19 比叡山延暦寺(平安初期：最澄の天台宗)
- 20 京都(平安：平安京／室町：室町幕府・金閣と銀閣／応仁の乱(1467年))
- 21 宇治(平安後期：平等院鳳凰堂)
- 22 奈良(奈良：平城京)
- 23 吉野(南北朝：後醍醐天皇が逃げ込む)
- 24 高野山金剛峯寺(平安初期：空海の真言宗)
- 25 大阪(桃山：豊臣秀吉が大阪城を築く／江戸：天下の台所／大塩の乱 1837年)
- 26 堺(室町～江戸初期：勘合貿易や南蛮貿易で栄えた)
- 27 兵庫(平安末期：平清盛の日宋貿易／江戸：日米修好通商条約(1858年)で開港)
- 28 姫路(桃山：姫路城)
- 29 広島(昭和：原爆の被害)
- 30 厳島神社(平安末期：平清盛)
- 31 高知(明治：自由民権運動・板垣退助の立志社)
- 32 下関(幕末：四国艦隊砲撃事件／明治：日清戦争の講和で下関条約)
- 33 壇ノ浦(鎌倉：壇ノ浦の合戦で平氏が滅亡)
- 34 北九州(明治：八幡製鉄所)
- 35 博多(弥生：金印の発見／鎌倉：元寇／室町～江戸初期：勘合貿易や南蛮貿易)
- 36 吉野ヶ里遺跡(弥生時代の遺跡)
- 37 長崎(江戸：出島でオランダと交易／昭和：原爆の被害)
- 38 島原・原城(江戸：島原・天草一揆(1637年))
- 39 鹿児島(戦国：ザビエルの来日(1549年)／幕末：イギリス艦隊の鹿児島砲撃／明治：西南戦争(1877年))
- 40 種子島(戦国時代：鉄砲伝来(1543年))
- 41 沖縄(室町：琉球王国／昭和：沖縄戦(1945年))

[問題]

図の●で示した①～⑤の場所のそれぞれについて、地名を a 群からそれぞれ 1 つずつ選べ。また、その地名にあてはまる説明文を、b 群の A～E からそれぞれ 1 つずつ選び、記号で答えよ。



(a 群)

博多 京都 種子島 平泉 鎌倉

(b 群)

- A 源頼朝は、この地を本拠地にして幕府をひらいた。
- B 1274 年、元軍はこの地に上陸し、幕府軍と戦った。
- C 奥州藤原氏は、この地を中心に栄え、中尊寺金色堂を建てた。
- D この地に漂着したポルトガル人によって鉄砲が伝えられた。
- E 794 年、桓武天皇は、この地に都を移し、平安京をつくった。

(熊本県)

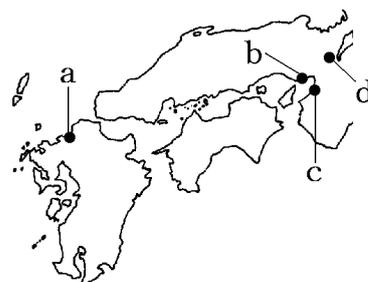
[解答欄]

①	②	③
④	⑤	⑥

[解答]① 平泉, C ② 鎌倉, A ③ 京都, E ④ 博多, B ⑤ 種子島, D

[問題]

右図の a～d は、京都、堺、博多、兵庫のいずれかを示している。また、次のあ～えの文は、a～d のいずれかに関する文である。a～d とそれに関する あ～えの文との組み合わせとして適切なものを、下のア～エの中から 2 つ選び、記号で答えよ。



- あ 集団戦法やすぐれた火器を使う元の軍勢に襲われた。
- い 勘合貿易や南蛮貿易で栄えたが、織田信長によって自治権が奪われた。
- う 平清盛によって港が修築され、中国船が直接入港できるようになった。
- え 足利義政によって、書院造の様式を取り入れた銀閣が建てられた。

ア a-あ イ b-い ウ c-う エ d-え

(静岡県)

[解答欄]

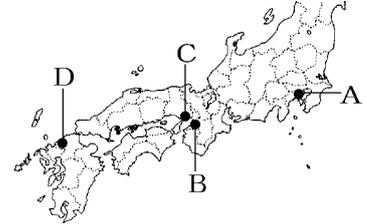
[解答]ア, エ

[解説]

aは博多で「あ」、bは兵庫で「う」、cは堺で「い」、dは京都で「え」

[問題]

次のア～エは、地図中で示したA～Dのいずれかの港や都市について述べたものである。Cにあてはまるものはどれか。ア～エのうちから1つ選び、その記号を書け。



ア 明との貿易や南蛮貿易で栄えたこの都市では、千利休らが活躍した。

イ 元と高麗の軍勢が襲来した湾にあるこの港は、のちに明との貿易で栄えた。

ウ 平清盛がこの港を整えて、さかんに中国(宋)との貿易を行った。

エ 文明導入の窓口となったこの都市には、新橋との間に初めての鉄道が開通した。

(岩手県)

[解答欄]

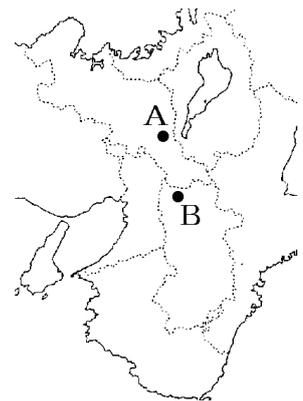
[解答]ウ

[解説]

Aは横浜でエ、Bは堺でア、Cは兵庫でウ、Dは博多でイ。

[問題]

地図のA、Bには、かつて都が置かれていた。それぞれの都の位置、名称、都が置かれていた時期にみられた政治の説明の組み合わせとして正しいものを、下の表のア～エから1つ選び、その記号を書け。



	位置	名称	都がおかれていた時期の政治の説明
ア	A	平城京	天武天皇は豪族への支配を強め、新しい政治のしくみをつくっていった。
イ	A	平安京	藤原氏は、摂政や関白として政治の実権をにぎり、摂関政治を行った。
ウ	B	平城京	聖徳太子は摂政として、蘇我氏とともに天皇中心の政治をめざした。
エ	B	平安京	唐・新羅との戦いに敗れた後に即位した天智天皇は、国内の政治に力を入れた。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

A は平安京，B は平城京である。

[問題]

江戸時代に三都とよばれた都市の中で，武家政治の中心である幕府の本拠地が置かれたことがない都市が1つある。その都市の名前を書け。また，その都市を含む都道府県を，右の略地図から1つ選び，記号で書け。

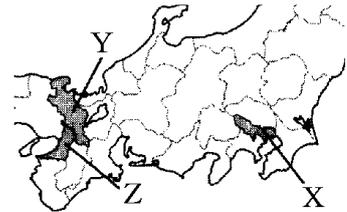
(山梨県)

[解答欄]

[解答]大阪，Z

[解説]

X の江戸には江戸幕府が，Y の京都には室町幕府が置かれた。



[問題]

右の地図を見て，明治から大正にかけてA～Dの地域でおこった社会の動きについて適切なものを下のア～エから1つ選び，記号で答えよ。

ア Aの地域では，民主化を求める自由民権運動がはじめておこった。

イ Bの地域では，関東大震災で大きな被害を受けた。

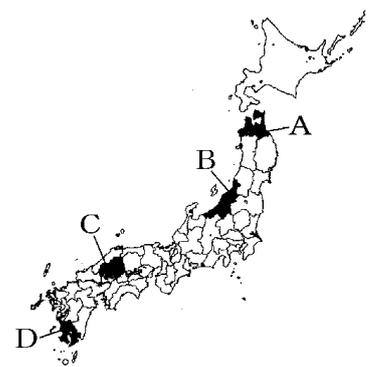
ウ Cの地域では，民営の八幡製鉄所が造られた。

エ Dの地域では，政府に対する西南戦争がおこった。

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]エ



【】文化史

【】文化の特色：古代～近世

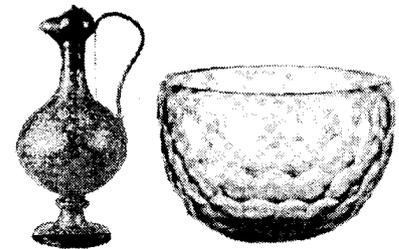
[要点]

飛鳥時代(593～)	飛鳥文化	聖徳太子の時代の仏教文化
奈良時代(710～)	天平文化	仏教や唐の文化の影響を受けた国際色豊かな文化
平安時代(794～)	国風文化	遣唐使の停止(894)→日本の風土にあった文化
鎌倉時代(1185～)	鎌倉文化	素朴で力強さを好む武士の気風を反映した文化
室町時代(1338～)	東山文化	武家と公家文化が融合した文化，禅宗の影響
安土桃山時代	桃山文化	新興の大名や大商人の富を背景にした豪華で壮大な文化
江戸時代(1603～)	元禄文化	大阪・京都などの上方を中心とした町人文化
	化政文化	江戸を中心にした町人文化

[問題]

右の写真は、天平文化の代表的な美術品である。この文化の特色を、次のア～エから1つ選べ。

- ア 中国から伝えられた禅宗の影響を受けた文化である。
- イ 新興の大名や大商人の富を背景にした文化である。
- ウ 西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな文化である。
- エ 大阪・京都などの上方を中心に町人がつくった文化である。



正倉院の漆器の水さしとガラスの碗

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

正倉院は奈良時代の天平文化

ウ(奈良：天平文化)→ア(室町)→イ(安土桃山：桃山文化)→エ(江戸：元禄文化)

[問題]

遣唐使が停止された後、わが国独特の文化が生まれた。この文化について適切に述べているものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

- ア 雄大な天守閣をもつ城がつくられ内部は狩野永徳らのえがいたふすま絵などで飾られた。
- イ 西アジアなどの影響を受けた仏教文化が栄え、聖徳太子により法隆寺が建立された。
- ウ 飾り気のない武士の気風が広まり、運慶らにより写実的で力強い彫刻がつけられた。
- エ かな文字が普及し、紫式部の「源氏物語」などの文学作品が生み出された。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

平安時代中ごろの 894 年に遣唐使が停止された後、唐の影響がうすれてわが国独特の国風文化がうまれた。

イ(飛鳥文化：「聖徳太子」「法隆寺」より判断)→エ(平安中期：国風文化：「かな文字が普及」「紫式部の源氏物語より判断)→ウ(鎌倉：「運慶」より判断)→ア(桃山文化：「雄大な天守閣」「狩野永徳」より判断)

[問題]

藤原頼通が活躍した時代の文化の特色について正しく述べたものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 武家文化の力強さと公家文化の美しさが融合した文化である。
- イ 日本の風土や生活に合わせて、貴族を中心に発達した文化である。
- ウ 唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化である。
- エ 大阪や京都などの町人を中心に発達した文化である。

(山形県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

藤原頼通は平安中期の摂関政治の最盛期の人物。

ウ(奈良：天平文化：「唐の文化の影響」「国際色豊かな文化」より判断)→イ(平安中期：国風文化)→ア(室町：「武家文化の力強さと公家文化の美しさが融合」より判断)→エ(江戸：元禄文化)

[問題]

金剛力士像がつくられた時代の文化の説明として、最もよくあてはまるのは、ア～エのうちではどれか。

- ア 大阪、京都など上方を中心に、町人の文化が形成された。
- イ 壮大な天守閣に象徴される、豪壮・華麗な文化が形成された。
- ウ 素朴で力強さを好む武士の気風を反映した文化が形成された。
- エ 仏教や唐の文化の影響を受けた国際色豊かな文化が形成された。

(岡山県)

【解答欄】

【解答】ウ

【解説】

金剛力士像は鎌倉時代の作品である。

エ(奈良：天平文化：「仏教や唐の影響」「国際色豊かな文化」より判断)→ウ(鎌倉：「素朴で力強さを好む武士の気風」より判断)→イ(桃山文化：「壮大な天守閣」「豪壮・華麗」より判断)→ア(江戸：元禄：「上方」「町人の文化」より判断)

【問題】

右の資料を参考に桃山文化をあらわす組み合わせとして正しいものを、次のア～エから1つ選んで記号で書け。

- ア 豪華で壮大な文化－狩野永徳
- イ 公家と武士の文化が融合した文化－観阿弥
- ウ 仏教と唐の影響を強く受けた文化－聖武天皇
- エ 町人を中心とする文化－歌川広重

(福井県)

姫路城



【解答欄】

【解答】ア

【解説】

ウ(奈良：天平文化)→イ(室町)→ア(桃山文化)→エ(江戸：化政文化)

【問題】

桃山文化について述べているのはどれか。

- ア 天守閣を持つ壮大な城がつくられ、大名や商人の間では茶の湯がさかんになった。
- イ 京都北山には、公家文化と武家文化の融合された金閣が建てられた。
- ウ 上方では庶民中心の新しい文化が生まれ、井原西鶴は浮世草子で町人の生活を描いた。
- エ 鴨長明の「方丈記」など、社会や人生を深く見つめた随筆があらわされた。

(栃木県)

【解答欄】

【解答】ア

【解説】

エ(鎌倉：「鴨長明の「方丈記」」より判断)→イ(室町：北山文化：「北山」「金閣」より判断)→
ア(桃山文化：「天守閣」「茶の湯」より判断)→ウ(江戸：元禄文化：「上方」「井原西鶴」より
判断)

【】 宗教

[要点]

古墳時代	百濟より仏教が伝えられる(538)
飛鳥時代(593～)	聖徳太子：法隆寺・釈迦三尊像，仏教が皇族や豪族などに広まる
奈良時代(710～)	聖武天皇：東大寺・大仏・国分寺・国分尼寺(仏教の力で国を守る)，鑑真
平安時代(794～)	桓武天皇の時代：空海(真言宗)・最澄(天台宗)が唐で密教を学ぶ 平安中期：浄土信仰→平等院鳳凰堂(藤原頼通)・中尊寺金色堂(奥州藤原氏，平泉)
鎌倉時代(1185～)	鎌倉仏教：簡単でわかりやすく，実行しやすい→民衆に広まる 念仏：法然(浄土宗)・親鸞(浄土真宗)・一遍(時宗) 題目：日蓮(日蓮宗) 座禅：栄西(臨済宗)・道元(曹洞宗)
室町時代(1338～) 戦国時代	一向宗(浄土真宗)の一向一揆 ザビエルがキリスト教を伝える(1549)
安土桃山時代	織田信長：一向一揆を弾圧，比叡山延暦寺の焼き討ち，キリスト教を保護 豊臣秀吉：最初はキリスト教を保護→禁止
江戸時代(1603～)	キリスト教を禁止，島原・天草一揆のあと絵踏を徹底し，宗門改めによって仏教の信者であることを寺に証明させる

[問題]

日本の各時期の仏教について述べた次のア～エの文を古い順に並べ，その符号を書け。

ア 最澄が天台宗を広め，空海が真言宗を広めた。

イ 大陸の文化の影響がみられる法隆寺が建てられた。

ウ 聖武天皇は，仏教の力で国を守ろうとして，東大寺を建てた。

エ 法然，親鸞，日蓮が教えを広め，栄西が臨済宗，道元が曹洞宗を伝え，広めた。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→ア→エ

[解説]

イ(飛鳥：「法隆寺」より判断)→ウ(奈良：天平文化：「聖武天皇」「東大寺」より判断)

→ア(平安初期：「最澄」「空海」より判断)→エ(鎌倉：「法然，親鸞，日蓮」等より判断)

[問題]

次の A～F のカードは、仏教とキリスト教に関する歴史上のできごとについてまとめたものである。カード A～F を年代の古い順に並べよ。

- A 聖徳太子は、推古天皇の摂政になって、政治に仏教の考え方を取り入れた。
- B 一遍は、念仏の大切さを説いて日本各地をめぐり歩き、踊り念仏によって時宗を広めた。
- C 江戸幕府は、禁教令を発して、キリスト教徒(キリシタン)への迫害を強めた。
- D 空海は、中国で仏教を学び、帰国した後、新しい宗派である真言宗を広めた。
- E ザビエルは、キリスト教を日本に伝え、鹿児島などで自ら布教活動を行った。
- F 朝廷は、国ごとに国分寺を建て、仏教の力によって国家を守り、安定させようとした。

(北海道)

[解答欄]

[解答]A→F→D→B→E→C

[解説]

A(飛鳥：「聖徳太子」「推古天皇」より判断)→F(奈良：「国分寺」より判断)→D(平安初期：「空海」より判断)→B(鎌倉：「一遍」より判断)→E(戦国：「ザビエル」より判断)→C(江戸)

[問題]

法隆寺が建てられた時期の社会のようすとして正しいものを、次のア～エの中から 1 つ選び、記号を書け。

- ア 貴族同士の争いが激しく、飢饉がおこり伝染病も流行する中、天皇は仏教の力に頼って政治を安定させようとした。
- イ 中国や朝鮮半島から伝わった仏教などの思想・文化や制度を取り入れて、天皇を中心とする国家体制を整えようとした。
- ウ 阿弥陀仏の救いによって死後に極楽浄土に生まれかわれるという教えが広まり、政治の実権を握る貴族などは仏教を厚く保護した。
- エ 産業が発達し、民衆の生活も向上し、仏教では民衆にも理解されやすい新しい教えが説かれるようになった。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

法隆寺は飛鳥時代。イ(飛鳥)→ア(奈良：聖武天皇)→ウ(平安中～後期：浄土信仰)→エ(鎌倉)

[問題]

奈良時代に製作された仏像などについて述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア 法然が新しい仏教の教えを広める一方、戦乱の被害を受けた奈良の寺院の復興が幕府などにより進められるなかで、東大寺南大門の金剛力士像が、運慶・快慶らによって製作された。
- イ 朝廷の保護を受けて仏教が急速に発展し、皇族や豪族によって寺院や仏像がつくられるようになるなかで、法隆寺金堂の釈迦三尊像が、止利仏師によって製作された。
- ウ 社会の混乱が続き、阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わろうとする浄土信仰が広まるなかで、平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像が、定朝によって製作された。
- エ 伝染病の流行やききんが起るなど社会の不安が増すなかで、天皇は仏教の力で国家を守ろうとして、国ごとに国分寺と国分尼寺を、都には東大寺を建て、大仏を製作させた。

(東京都)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

イ(飛鳥：「法隆寺」より判断)→エ(奈良：「国分寺と国分尼寺」「東大寺」「大仏」より判断)→ウ(平安中～後期：「平等院鳳凰堂」より判断)→ア(鎌倉：「法然」「東大寺南大門の金剛力士像」「運慶・快慶」より判断)

[問題]

10～11世紀のころの信仰の様子分かるものを、1つ選んで記号を書け。

- ア 念仏や題目を唱える教えが民衆に広まった。
- イ 浄土信仰が広まり、平等院鳳凰堂が建てられた。
- ウ 仏教が皇族や豪族などに広まり、法隆寺が建てられた。
- エ 信仰で結びついた武士や農民たちが一向一揆をおこし、守護大名に対抗した。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

10～11世紀は平安時代後期。

ウ(飛鳥：「法隆寺」より判断)→イ(平安中～後期：「浄土信仰」「平等院鳳凰堂」より判断)→ア(鎌倉：「念仏や題目」より判断)→エ(室町：「一向一揆」「守護大名」より判断)

[問題]

紫式部が源氏物語を書いたころの仏教について説明したものを、次のア～エから1つ選び、符号で答えよ。

ア 法華経の題目を唱えれば、人も国家も救われるという日蓮宗が広まった。

イ 浄土信仰がおこり、阿弥陀仏の像や阿弥陀堂がさかんにつくられた。

ウ 禅宗は幕府の保護を受け、禅僧が文芸や外交に活躍した。

エ 浄土真宗など、念仏を唱える新しい仏教の教えが広まった。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

紫式部は平安中期の人物。

イ(平安中～後期：「浄土信仰」より判断)→ア(鎌倉：「日蓮宗」より判断)・エ(鎌倉：「浄土真宗」より判断)・ウ(鎌倉～室町)

[問題]

13世紀のころのわが国の仏教に関することがらとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 浄土信仰が貴族の間に広まった。

イ 国ごとに国分寺が建てられた。

ウ 高野山に金剛峯寺が建てられた。

エ 曹洞宗が武士の間に広まった。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

13世紀は鎌倉時代。

イ(奈良：「国分寺」より判断)→ウ(平安初期：高野山金剛峯寺は空海が建立)→ア(平安中～後期：「浄土信仰」より判断)→エ(鎌倉：「曹洞宗が武士の間に広まった」より判断)

[問題]

金剛力士像が運慶らによってつくられた年代とほぼ同じ時期の日本のできごとについて述べた文として最も適当なものを、次のア～エの中から選んで、そのかな符号を書け。

ア 最澄と空海は中国にわたり、帰国後、最澄は天台宗を、空海は真言宗を広めた。

イ 聖武天皇は、地方の国ごとに国分寺と国分尼寺を、奈良には東大寺を建てた。

ウ 鑑真は、いくども遭難したが、苦難の末に来日し、寺院や僧の制度を伝えた。

エ 法然の弟子である親鸞は、浄土宗の教えをさらにつきつめて浄土真宗を開いた。

(愛知県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

金剛力士像は鎌倉時代。

イ(奈良：「聖武天皇」「国分寺と国分尼寺」「東大寺」より判断)・ウ(奈良：「鑑真」より判断)→

ア(平安初期：「最澄と空海」より判断)→エ(鎌倉：「法然」「親鸞」より判断)

[問題]

わが国の仏教について述べた次のできごとが、年代の古い順に左から右に並ぶように、記号を用いて書け。

ア 浄土信仰がおこり、宇治の平等院鳳凰堂などがつくられた。

イ 最澄が、比叡山に延暦寺を建てて、天台宗を広めた。

ウ 日蓮が、法華経の題目を唱えれば、人も国家も救われると説いた。

(香川県)

[解答欄]

[解答]イ→ア→ウ

[解説]

イ(平安初期：「最澄」より判断)→ア(平安後期：「浄土信仰」「平等院鳳凰堂」より判断)→ウ(鎌

倉：「日蓮」より判断)

[問題]

キリスト教とかかわりのある，次のア～エのできごとを古い順に並べよ。

ア ザビエルが鹿児島に上陸した。

イ 九州で島原・天草一揆がおこった。

ウ 徳川家康がキリスト教を禁止した。

エ ヨーロッパで宗教改革がおこった。

(群馬県)

[解答欄]

[解答]エ→ア→ウ→イ

【】美術

[要点]

奈良時代	平安時代	鎌倉時代	鎌倉時代	室町時代	江戸(元禄文化)	江戸(化政文化)
						
鳥毛立女屏風 正倉院宝物	源氏物語絵巻 大和絵	源頼朝の肖像画 似絵	蒙古襲来絵詞	秋冬山水画 水墨画(雪舟)	見返り美人 浮世絵 (菱川師宣)	ポップンを吹く女 浮世絵 (歌川広重)

[問題]

奈良に平城京が造られ都として栄えていたころの文化について説明するために、下のア～エの資料のどれかを使うことにした。使う資料として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、その記号を書け。

ア	イ	ウ	エ
			

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エ(奈良：鳥毛立女屏風，正倉院の宝物)→ア(平安：大和絵・源氏物語絵巻)→イ(室町：水墨画・雪舟の秋冬山水画)→ウ(江戸：元禄文化：浮世絵・菱川師宣の見返り美人)

[問題]

次の各問いに答えよ。

- (1) 正倉院と関係が深いのは、次のア～エのうちのどれか。
(2) ア～エを、えがかれた時代の古い方から順に、記号で並べよ。

ア 鳥毛立女屏風



イ 雪舟の水墨画



ウ 蒙古襲来絵詞



エ 源氏物語絵巻



(宮崎県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) ア (2) ア→エ→ウ→イ

[解説]

正倉院は奈良時代。

ア(奈良：鳥毛立女屏風，正倉院の宝物)→エ(平安：大和絵・源氏物語絵巻)→ウ(鎌倉)→イ(室町：水墨画・雪舟の秋冬山水画)

[問題]

足利義政が京都の東山に銀閣を建てたころに栄えた文化と、最も関係の深いものは次のア～エのどれか。

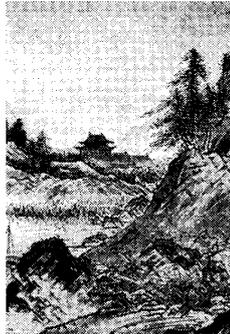
ア



イ



ウ



エ



(鹿児島県)

[解答欄]

--

[解答]ウ

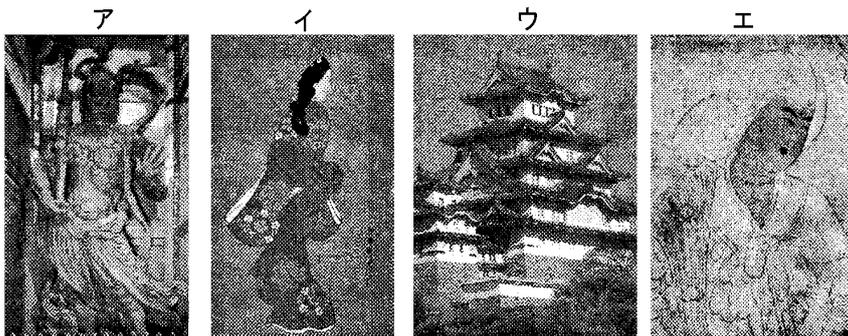
[解説]

室町時代、足利義政が京都の東山に銀閣を建てたところに栄えた文化を東山文化という。

エ(奈良：鳥毛立女屏風，正倉院の宝物)→ア(平安：大和絵・源氏物語絵巻)→ウ(室町：水墨画・雪舟の秋冬山水画)→イ(江戸：元禄文化：浮世絵・菱川師宣の見返り美人)

[問題]

御成敗式目が定められた 13 世紀のころの文化を代表する文化財として、最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、その符号を書け。



(新潟県)

[解答欄]

[解答]ア

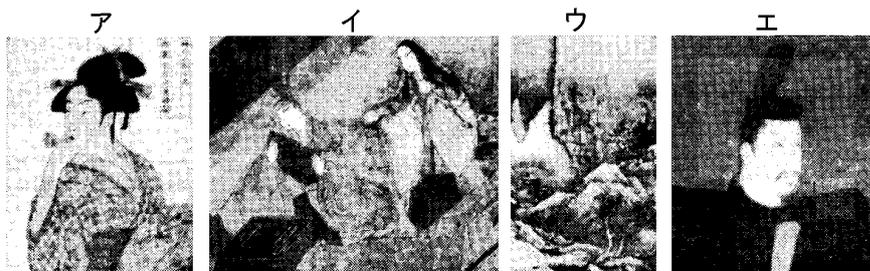
[解説]

御成敗式目が定められた 13 世紀は鎌倉時代。

エ(奈良：鳥毛立女屏風，正倉院の宝物)→ア(鎌倉：金剛力士像)→ウ(桃山：姫路城)→イ(江戸：元禄文化：浮世絵・菱川師宣の見返り美人)

[問題]

錦絵を、ア～エから 1 つ選び、符号で書け。



(岐阜県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

錦絵とは多色刷りの木版画(浮世絵)のこと。江戸時代の化政文化のころに流行。

イ(平安：大和絵・源氏物語絵巻)→エ(鎌倉：似絵)→ウ(室町：水墨画・雪舟の秋冬山水画)→ア(江戸：化政文化：浮世絵(錦絵)・喜多川歌麿の「ポッピンをふく女」)

[問題]

右のア、イの写真は[]のどの時期のものか。
それぞれ1つずつ選べ。

[古代 中世 近世 近代 現代]

(青森県)

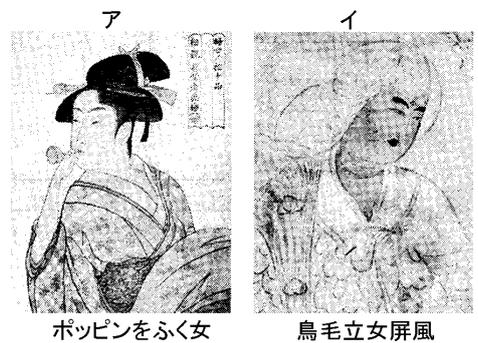
[解答欄]

ア	イ
---	---

[解答]ア 近世 イ 古代

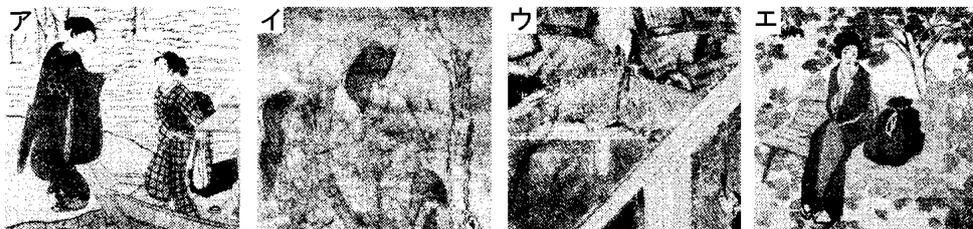
[解説]

アは江戸時代(近世)に喜多川歌麿が描いた浮世絵で、色彩豊かな美人画の名作。イは東大寺正倉院に残る美術品で、天平文化(奈良時代)(古代)を代表する作品の1つ。



[問題]

「遣唐使の派遣が行われなくなったころから、日本の生活や自然に合った、より日本的な文化が生まれた。このころには、この絵のように日本の風俗や、自然を題材としたものがえがかれるようになった。」この説明文に最もよくあてはまるのは、ア～エのうちではどれか。



(岡山県)

[解答欄]

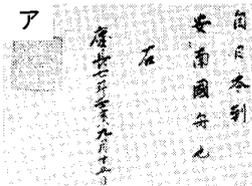
[解答]ウ

[解説]

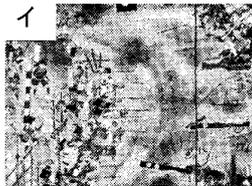
遣唐使の派遣が行われなくなったころから、日本の生活や自然に合った、より日本的な文化が生まれたが、この文化を国風文化という。ウの源氏物語絵巻はこの時代の作品。

[問題]

鎌倉時代と関係があるものをア～エから1つ選べ。



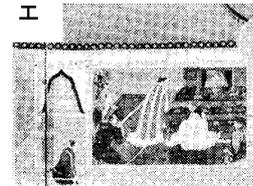
朱印状



長篠合戦図屏風



東大寺南大門金剛力士像



南蛮人渡来図屏風

(宮崎県)

[解答欄]

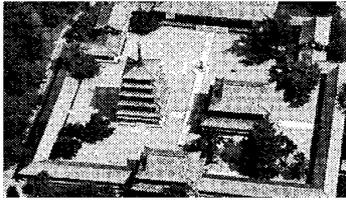
[解答]ウ

[解説]

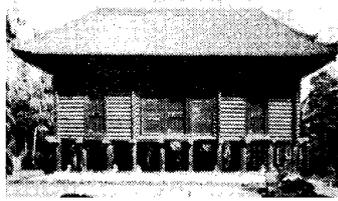
ウ(鎌倉)→イ(安土)→エ(桃山)→ア(江戸)

【】 建築・彫刻

[要点]



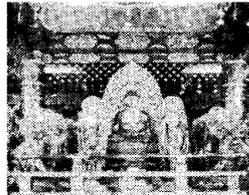
法隆寺(飛鳥時代)



正倉院(奈良時代)



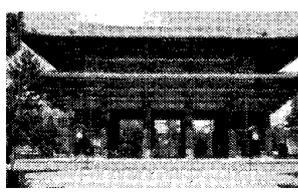
平等院鳳凰堂(平安時代)



中尊寺金色堂(平安時代)



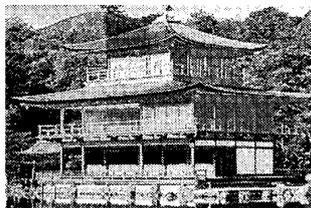
厳島神社(平安時代)



東大寺南大門(鎌倉時代)



金剛力士像(鎌倉時代)



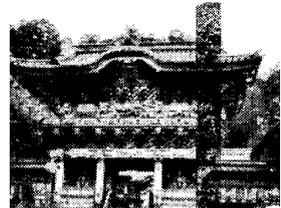
金閣(室町時代)



銀閣(室町時代)



姫路城(桃山時代)

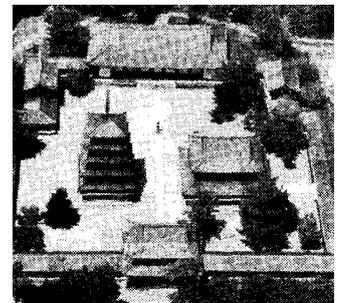


日光東照宮(江戸時代)

[問題]

右の図の寺院を説明した文として正しいものを下のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 栃木県日光市にあり、豪華さで知られている。
- イ 現存する世界最古の木造建築物と言われている。
- ウ 瀬戸内海を航行する人々の守り神として信仰された神社である。
- エ 桃山文化を代表する建物である。



(沖縄県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

図の寺院は飛鳥時代を代表する法隆寺。イ(飛鳥：法隆寺・聖徳太子)→ウ(平安末期：厳島神社・平清盛)→エ(桃山：姫路城など)→ア(江戸：日光東照宮)

[問題]

右の写真について、組み合わせとして正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 正倉院－国風文化 イ 法隆寺－天平文化
ウ 正倉院－天平文化 エ 法隆寺－国風文化



(沖縄県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

天平文化は平城京を中心に栄えた。正倉院にはシルクロード・中国・朝鮮経由でもたらされた外国産品も収蔵されている。

[問題]

天平文化に最も関係が深いものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

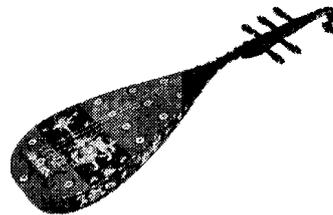
ア 金剛力士像



イ 冬景山水図



ウ 5本の弦をつけた琵琶
(正倉院宝物)



エ 平等院鳳凰堂



(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ウ(奈良：天平文化：正倉院宝物の琵琶)→エ(平安後期：平等院鳳凰堂・藤原頼通)→ア(鎌倉：東大寺南大門の金剛力士像・運慶)→イ(室町：雪舟の水墨画)

[問題]

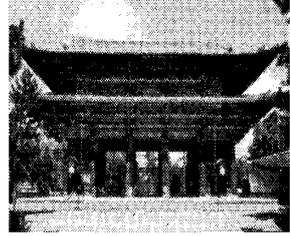
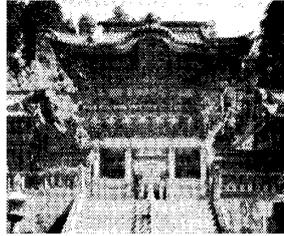
中尊寺金色堂と同じく極楽浄土へのあこがれからつくられた建物として、最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 法隆寺金堂

イ 日光東照宮陽明門

ウ 平等院鳳凰堂

エ 東大寺南大門



(宮城県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

平安時代中期、念仏を唱えて阿弥陀仏にすがれば、死後、極楽浄土へ生まれかわることができるという浄土信仰が広まった。藤原頼通がつくった平等院鳳凰堂や奥州藤原氏がつくった中尊寺金色堂は浄土信仰の影響を受けている。

ア(飛鳥：法隆寺)→ウ(平安後期：平等院鳳凰堂)→エ(鎌倉：東大寺南大門)→イ(江戸：日光東照宮)

[問題]

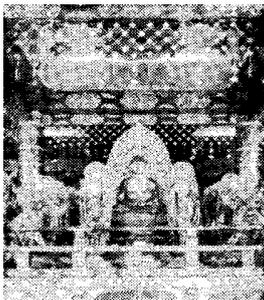
14～15世紀の時期につくられたものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア

イ

ウ

エ



中尊寺の金色堂



慈照寺の銀閣



見返り美人



東大寺の金剛力士像

(山形県)

[解答欄]

[解答]イ

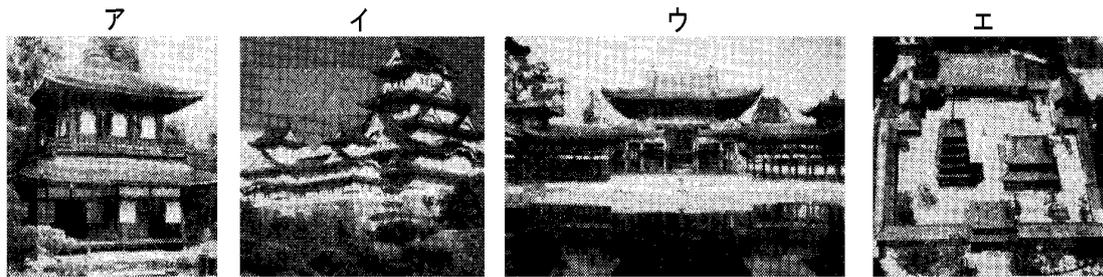
[解説]

14～15 世紀は室町時代。

ア(平安後期：中尊寺金色堂)→エ(鎌倉：金剛力士像)→イ(室町：東山文化：銀閣・足利義政)→ウ(江戸：元禄文化：浮世絵)

[問題]

下のア～エは、我が国の世界文化遺産の写真である。安土桃山時代の文化を代表する建物として最も適当なものを、ア～エから 1 つ選び、その記号を書け。



(愛媛県)

[解答欄]

[解答]イ

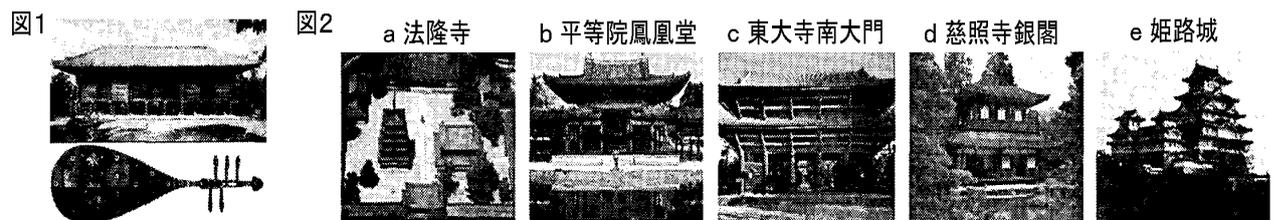
[解説]

エ(飛鳥：法隆寺)→ウ(平安後期：平等院鳳凰堂)→ア(室町：東山文化：銀閣)→イ(桃山：姫路城)

[問題]

次の図 1 は、聖武天皇が使っていた品などを納めた正倉院とその宝物であり、図 2 は、各時代を代表する建物を時代の古い順に左から並べたものである。図 2 の中に図 1 を並べる場合、どこに入れたらよいか、次のア～エの中から 1 つ選んで、その記号を書け。

ア a と b の間 イ b と c の間 ウ c と d の間 エ d と e の間



(茨城県)

[解答欄]

[解答]ア

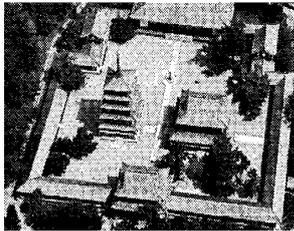
[解説]

a(飛鳥：法隆寺)→b(奈良：天平文化：正倉院)→c(平安後期：平等院鳳凰堂)→d(鎌倉：東大寺南大門)→e(室町：東山文化：銀閣)→f(桃山：姫路城)

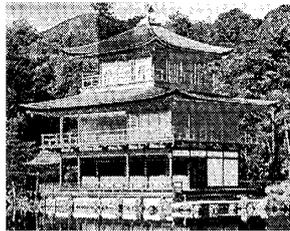
[問題]

次のア～エの4つの建築物のうち、聖徳太子・空海・足利義満・松平定信のいずれの人物も建築にかかわっていないものはどれか、1つ選べ。

ア 法隆寺



イ 鹿苑寺金閣



ウ 姫路城



エ 高野山金剛峰寺



(京都府)

[解答欄]

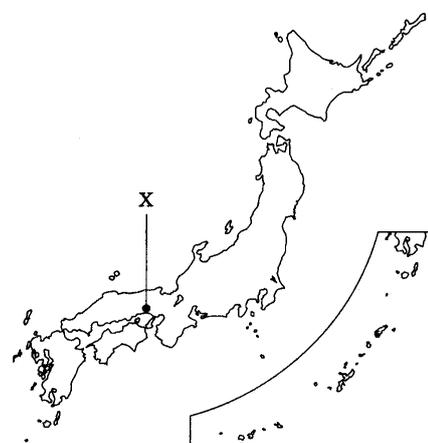
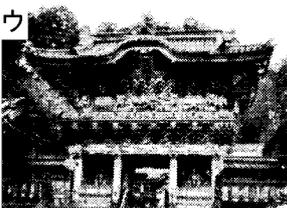
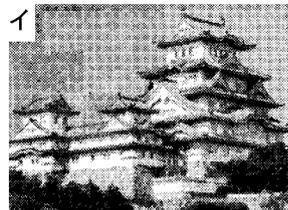
[解答]ウ

[解説]

ア(飛鳥：法隆寺・聖徳太子)→b(平安初期：金剛峯寺・空海)→c(室町：北山文化：金閣・足利義満)→d(桃山：姫路城)

[問題]

次のア～エの世界文化遺産のうち、略地図にXで示した場所にあるものはどれか。



(神奈川県)

【解答欄】

--

【解答】イ

【解説】

アは白川郷の合掌造り集落(岐阜県), イは姫路城(兵庫県姫路(地図の X)), ウは日光東照宮(栃木県), エは厳島神社(広島県)。

【問題】

次の文の①, ②に適語を入れよ。

平安時代には文化の国風化が進み, 貴族は(①)とよばれる様式の屋敷に住んだ。一方, 室町時代には, 3代将軍が建てた(②)に(①)と書院造の様式が取り入れられており, 公家の文化と武家の文化の融合がみられる。

(福岡県)

【解答欄】

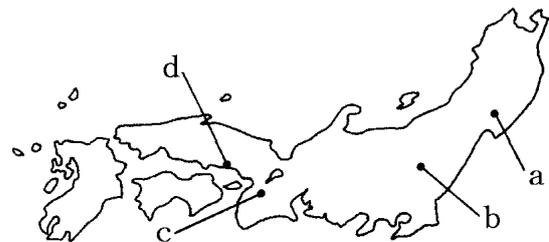
①	②
---	---

【解答】① 寝殿造 ② 金閣

【問題】

次の①～④の文を, 文中にある建築物ができた時代の古い順に左から並べて, その番号を書け。また, 各文に示された建築物のある場所を右図の a～dの中から選べ。

- ① 日光東照宮は, 桃山文化を受けついで豪華さを示している。
- ② 中尊寺金色堂は, 建物全体に金箔やうるしを用いて豪華にかざられている。
- ③ 姫路城は, その美しい姿から白鷺城ともよばれている。
- ④ 正倉院は, 日本と世界の文化のつながりを示す宝物を収納している。



(茨城県)

【解答欄】

--

【解答】④c→②a→③d→①b

[解説]

④c(奈良：正倉院・奈良県)→②a(平安後期：中尊寺金色堂・岩手県)→③d(桃山：姫路城・兵庫
庫県)→①b(江戸：日光東照宮・栃木県)

[問題]

千利休が茶の湯の作法を完成させたころの建築物について述べた文として最も適切なもの
を、ア～エから1つ選び、符号で書け。

ア 仏教をもとにした飛鳥文化が栄え、聖徳太子は法隆寺を建てた。

イ 奥州の藤原氏は、平泉を拠点として栄え、中尊寺金色堂をつくった。

ウ 聖武天皇は、国ごとに国分寺と国分尼寺を、都には東大寺を建てた。

エ 豊臣秀吉は、高くそびえる天守閣をもつ壮大な城を、大阪に築いた。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

豊臣秀吉に仕えた千利休は桃山時代の茶人。

ア(飛鳥：法隆寺)→ウ(奈良：東大寺・国分寺)→イ(平安後期：中尊寺金色堂)→エ(桃山：大阪
城)

【】 文芸・学問

[要点]

奈良時代(710～)	古事記・日本書紀・風土記, 万葉集(和歌集)
平安時代(794～)	遣唐使の停止(894)→国風文化→かな文字の発明 源氏物語(紫式部の長編小説)・枕草子(清少納言の随筆)・古今和歌集
鎌倉時代(1185～)	平家物語(軍記物・琵琶法師) 方丈記(鴨長明の随筆)・徒然草(吉田兼好の随筆), 新古今和歌集
室町時代(1338～)	能(観阿弥と世阿弥・足利義満が保護)・狂言 浦島太郎などの御伽草子(絵入りの物語), 連歌
安土桃山時代	茶の湯(千利休), かぶき踊り(出雲の阿国), 南蛮文化→活版印刷術
江戸時代(1603～)	元禄文化: 奥の細道(松尾芭蕉の俳諧) 近松門左衛門の人形浄瑠璃, 井原西鶴の浮世草子 化政文化: 川柳や狂歌, 東海道中膝栗毛(十返舎一九) 南総里見八犬伝(滝沢馬琴) 国学(本居宣長の古事記伝), 蘭学(杉田玄白らの解体新書), 寺子屋

[問題]

唐との正式な国交がなくなり, 文化の国風化が進んだころに書かれた文学について述べている文を, 次のア～エから1つ選び, その符号を書け。

ア かな文字が広まり, 「枕草子」などの文学作品が書かれた。

イ 天皇から庶民までのさまざまな人々の歌を集めた「万葉集」がつけられた。

ウ 自然の中に人生をみつめる作風が俳諧に生まれ, 「奥の細道」が書かれた。

エ 「御伽草子」とよばれる絵入りの物語が, 多くの人に親しまれた。

(石川県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

平安時代中期, 894年に遣唐使が停止されると, 唐の文化の影響がうすれて文化の日本化が進み, かな文字も生まれた。かな文字によって感情を自由に書きあらわせるようになり, 紀貫之らが編集した「古今和歌集」や, 紫式部の「源氏物語」, 清少納言の随筆「枕草子」など, すぐれた文学作品が生まれた。

イ(奈良: 「万葉集」より判断)→ア(平安中期: 国風文化: 「かな文字」「枕草子」より判断)→エ(室町: 「御伽草子」より判断)→ウ(江戸: 元禄文化: 「奥の細道」より判断)

[問題]

国風文化と最も関係の深いものはどれか。

ア 「古事記」や「日本書紀」ができあがり、やがて「万葉集」もつくられた。

イ 「浦島太郎」などの御伽草子とよばれる絵入りの物語が喜ばれた。

ウ 「東海道中膝栗毛」などの作品が人気を得、川柳や狂歌も流行した。

エ 「源氏物語」や「枕草子」などのかな文字を用いた作品が生まれた。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ア(奈良:「古事記」「日本書紀」「万葉集」より判断)→エ(平安中期:国風文化:「かな文字」「源氏物語」「枕草子」より判断)→イ(室町:「浦島太郎」「御伽草子」より判断)→ウ(江戸:化政文化:「東海道中膝栗毛」「川柳や狂歌」より判断)

[問題]

平安時代につくられた作品を次から1つ選べ。

[古事記 方丈記 平家物語 源氏物語]

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]源氏物語

[解説]

古事記(奈良)→源氏物語(平安・国風文化)→平家物語(鎌倉)・方丈記(鎌倉)

[問題]

優雅な貴族文化が栄えて、かな文字が発達したころの文学作品としてあてはまるものを、

[]から1つ選べ。

[東海道中膝栗毛 徒然草 万葉集 源氏物語]

(大分県)

[解答欄]

[解答]源氏物語

[解説]

優雅な貴族文化が栄えて、かな文字が発達したのは平安中期の国風文化。

万葉集(奈良)→源氏物語(平安中期：国風文化)→徒然草(鎌倉)→東海道中膝栗毛(江戸：化政文化)

[問題]

摂関政治が行われていたころの文化について述べた文はどれか。下のア～エのうちから最も適当なものを1つ選び、その符号を書け。

ア 松尾芭蕉は、俳諧(俳句)の世界で活躍し、「奥の細道」を記した。

イ 紫式部は、宮中の生活などを題材にした「源氏物語」を書いた。

ウ 天皇や防人などの和歌 4500 首あまりを集めた「万葉集」が作られた。

エ 杉田玄白らは、海外の人体解剖書を日本語に訳して「解体新書」を出版した。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

摂関政治が行われていたのは平安時代中期。

ウ(奈良：「万葉集」より判断)→イ(平安中期：国風文化：「紫式部」「源氏物語」より判断)→ア(江戸：元禄文化：「松尾芭蕉」「奥の細道」より判断)→エ(江戸後期：「杉田玄白」「解体新書」より判断)

[問題]

「枕草子」や「源氏物語」が書かれたころの時代の文化のようすについて述べた文として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

ア 東アジアの国際的な交流がさかんになる中で、日本の国家のおこりや神話などに対する関心が高まり、はじめてそれらをまとめようとする気運がおこった。

イ 有力な武士団である源氏と平氏の戦いが数年間にわたりくりひろげられ武士たちのはなばなしい活躍ぶりを表現しようとする動きがおこった。

ウ 漢字を変形して日本語の発音を表す「かな文字(ひらがな)」ができ、これを用いて人々の感情をよりこまやかに表現できるようになった。

エ 一般の地方武士や都市の有力者は、子どもに寺で教育を受けさせるようになり、絵入りの物語がつくられて広く読まれるようになった。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

枕草子や源氏物語は平安中期の国風文化の時代の作品。

ア(奈良：日本の国家のおこりや神話などをまとめた歴史書は日本書紀や古事記)→ウ(平安中期：国風文化：「かな文字」より判断)→イ(平安末期：「源氏と平氏」より判断)→エ(室町：「絵入りの物語」より判断)

[問題]

文化について、時代の古い方から順に、符号で並べよ。

ア かな文字を用いた「古今和歌集」や「源氏物語」や「枕草子」などすぐれた文学作品が生まれた。

イ 漢語や口語をまじえた文章で武士の活躍をえがいた軍記物の「平家物語」がつけられた。

ウ 神話や伝承・記録などをもとにまとめた「古事記」と「日本書紀」がつけられた。

エ 御伽草子とよばれる絵入りの物語が喜ばれたり、また、連歌が広く行なわれたりした。

(宮崎県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→イ→エ

[解説]

ウ(奈良：「古事記」「日本書紀」より判断)→ア(平安中期：国風文化：「かな文字」「古今和歌集」「源氏物語」「枕草子」より判断)→イ(鎌倉：「平家物語」より判断)→エ(室町：「御伽草子」「連歌」より判断)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に並べかえ、符号を書け。

ア 町人の文芸として、政治や世間を批判する狂歌や川柳が流行した。

イ 天皇や貴族、防人や農民の歌などを集めた和歌集がつけられた。

ウ 活版印刷術が伝えられて宗教や文学の本が出版された。

エ かな文字によるすぐれた文学作品が、宮廷に仕える女性の手によって生み出された。

(大分県)

[解答欄]

[解答]イ→エ→ウ→ア

[解説]

イ(奈良：天皇や貴族、防人や農民の歌などを集めた和歌集とは万葉集のこと)→エ(平安中期：国風文化：「かな文字」より判断)→ウ(桃山：「活版印刷術」より判断)→ア(江戸：化政文化：「狂歌や川柳」より判断)

【】 産業経済史

[要点]

縄文時代	狩りや採集→縄文土器で煮炊き・保存／豊かな恵みを願うための土偶／貝塚	
弥生時代	大陸から稲作が伝わる／高床倉庫／稲の収穫のための石包丁／弥生土器／金属器(青銅器・鉄器)	
古墳時代	高温で焼いた硬い質の土器(須恵器)／高級な絹織物	
飛鳥時代 (593)	大化の改新で公地公民	
奈良時代 (710)	班田収授法・口分田／租・庸・調・雑徭などの税や兵役(防人)の義務 →重い負担→農民の逃亡 墾田永年私財法(743)→貴族・寺院が農民を使って開墾→荘園の始まり	鉄製の農具の普及 平城京の市 富本銭や和同開珎
平安時代 (794)	荘園の発達・荘園の寄進→摂関政治・院政の経済的基礎 地方の政治は国司にまかせきり→地方政治の乱れ→有力農民の武装→武士の発生 平清盛が日宋貿易	
鎌倉時代 (1185)	荘園ごとに地頭を任命→農民は年貢を荘園領主や地頭に納め二重の支配に苦しむ(阿氏河荘の農民の訴え)	牛馬による耕作／肥料の使用 ／麦を裏作とする二毛作 商品作物／定期市・宋銭や明銭←勘合貿易
室町時代 (1338)	惣とよばれる自治的な組織で寄合→用水路の維持や管理・土一揆	土倉・酒屋・寺院が高利貸し座とよばれる同業者の組合
安土桃山時代	織田信長の楽市・楽座、関所の廃止 太閤検地・ものさしやますを統一・石高をもとに年貢をとり立てる 刀狩→兵農分離	南蛮貿易
江戸時代 (1603)	慶安の御触書, 五人組の制度 庄屋・組頭・百姓代などの村役人 百姓一揆, 都市では打ちこわし 西廻り航路, 東廻り航路 大阪(天下の台所)・江戸(将軍のおひざもと) 株仲間	朱印船貿易 新田開発で耕地面積の増大 備中ぐわや千歯こきの発明 藍・紅花・綿・菜種などの商品作物→農村に貨幣経済が広がる
明治時代 (1868)	地租改正(地券を発行・地価の3%を現金で) →反対一揆 生糸の輸出が増加し, 養蚕がさかんになり桑畑が増加	
大正時代 (1912)	小作料の引き下げを求める小作争議	
昭和時代 (1926)	農地改革(戦後の民主化政策)	

【】 農業・農村

[問題]

縄文時代について書かれたものとして最もふさわしいものはどれか。

- ア 巨大な前方後円墳がつくられた。
- イ 収穫した稲は高床の倉庫にたくわえられた。
- ウ 和同開珎という貨幣が使われた。
- エ 当時の海岸や水辺に貝塚ができた。

(神奈川県)

[解答欄]

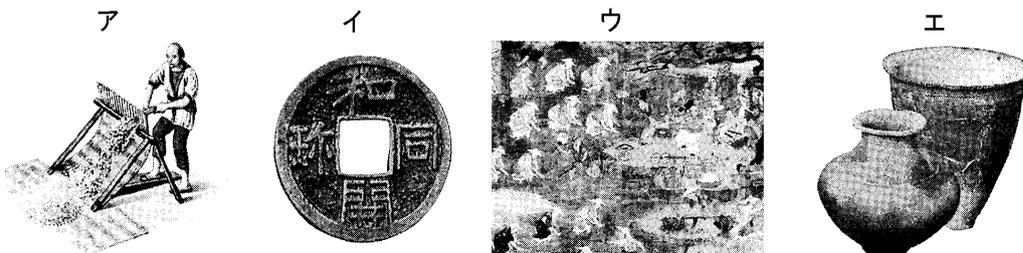
[解答]エ

[解説]

エ(縄文：「貝塚」より判断)→イ(弥生：「高床の倉庫」より判断)→ア(古墳：「前方後円墳」より判断)→ウ(奈良ごろ：「和同開珎」より判断)

[問題]

「大陸から稲作が伝えられ、人々は水田の近くに定住した。竪穴住居の近くには収穫した稲をたくわえるための高床倉庫もつくられた。」時代の人々の暮らしと最も関連の深いものを、ア～エから1つ選んで記号で答えよ。



(島根県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

「大陸から稲作が伝えられ、人々は水田の近くに定住した。竪穴住居の近くには収穫した稲をたくわえるための高床倉庫もつくられた。」のは弥生時代である。

エ(弥生：弥生土器)→イ(奈良ごろ：和同開珎 701年)→ウ(室町：農民は惣という自治組織でまとまりを強め、農民がそろって田植えをするようになった)→ア(江戸：千歯こき)

[問題]

紀元前 4 世紀～紀元 3 世紀当時の社会や人々の生活の様子について述べた文として最も適切なものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 鉄製の農具が広まり、稲の収穫量が増えたが、人口も増加したため、口分田が不足してきた。
- イ 食料を煮たり保存したりするため、縄文土器とよばれる土器がつくられ始めた。
- ウ 貧富の差や身分の違いが生まれ各地で有力な指導者によって小さな国がつけられていった。
- エ 耕作に牛馬を利用したり、肥料を使ったりするようになり、二毛作が各地に広まった。

(山形県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

紀元前 4 世紀～紀元 3 世紀は弥生時代。イ(縄文:「縄文土器」より判断)→ウ(弥生後半)→ア(奈良:班田収授法で口分田を貸与)→エ(鎌倉～室町)

[問題]

5 世紀ころに渡来人が中国や朝鮮から伝えた技術や文化などについて述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア 二毛作が広まり、耕作に牛馬を利用したり、肥料を使ったりするなどの工夫がされるようになった。また、茶を飲む習慣が広がり、茶の栽培がさかんになった。
- イ 綿糸や綿布をつくる機械の改良が進み、石炭を燃料とする蒸気機関が動力として使われるようになった。また、蒸気機関車が実用化され鉄道が開通した。
- ウ 高温で焼いた硬い質の土器や高級な絹織物がつくられるようになった。また、漢字を用いた外交文書や記録が作成されるようになった。
- エ 縄目の文様がついた土器がつけられ、狩りや採集で得た食料の煮たきや貯蔵に使われるようになった。また、豊かな恵みを願うなどの目的で土偶がつけられた。

(東京都)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

エ(縄文：縄文土器・狩りや採集)→ウ(古墳：須恵器や絹織物などの技術や文字などを5世紀ころに渡来人が伝えた)→ア(鎌倉後期～室町：二毛作・牛馬耕)→イ(イギリスで18世紀におこった産業革命)

[問題]

日本の農業に関して述べた次のア～エの文を古い順に並べ、その符号を書け。

- ア 稲の収穫には石包丁が使われ、豊作を神に祈る祭りなどに銅鐸などの青銅器が使われた。
イ 新しい土地の開墾がさかんに行われ、農具として備中ぐわが普及し千歯こきが発明された。
ウ 口分田が不足し、新しく開墾した土地を永久に私有することを認める法が定められた。
エ 稲と麦の二毛作や牛馬を使った農耕が広がり生産量が増え、市では大量の宋銭や明銭が農作物などの商品の取引に使われた。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]ア→ウ→エ→イ

[解説]

ア(弥生：「石包丁」「銅鐸」より判断)→ウ(奈良：口分田の不足→743年の墾田永年私財法)→エ(室町：明銭とあるので鎌倉時代ではなく室町時代)→イ(江戸：「備中ぐわ」「千歯こき」より判断)

[問題]

奈良時代の農民の生活として最も適切なものを、ア～エから1つ選べ。

- ア 生活にゆとりができた農民は、自分たちでくふうをこらして新田を開墾した。
イ 農業技術が進歩し、牛馬を使った耕作や、米と麦の二毛作を行うようになった。
ウ 重い税に苦しむ農民の中には、逃亡したり戸籍をいつわったりする者もいた。
エ 用水路の維持や管理を村で行うようになり、村と村とが対立するようになった。

(徳島県)

[解答欄]

[解答]ウ

【解説】

ウ(奈良：現実にあわない租庸調の重税→農民の苦しみ→逃亡)→イ(鎌倉後期～室町：「牛馬を使った耕作」「二毛作」より判断)→エ(室町：惣とよばれる自治的な組織が発達して、用水路の維持や管理を行った)→ア(江戸：新田開発がさかんに行われたのは江戸時代)

【問題】

①鑑真が日本に来たころ、②中国船の貿易が長崎に限られていたころの農村のようすを、次のア～エの中からそれぞれ選び、記号を書け。

- ア 農民には口分田があたえられ鉄製の農具が広まり稲の収穫は増えた。
- イ 二毛作が各地で行われ、肥料に牛馬の糞や堆肥を使用し、米の収穫量が増えた。
- ウ 草や木の灰が肥料として使われ米の裏作に麦が作られるようになった。
- エ 備中ぐわや千歯こきなどの農具が発明され、農業の生産力が高まった。

(長野県)

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① ア ② エ

【解説】

①鑑真が来日したのは奈良時代。②中国船の貿易が長崎に限られていたのは江戸時代。

ア(奈良：「口分田」より判断)→ウ(鎌倉)→イ(室町：二毛作が普及した点では鎌倉・室町とも共通だが、鎌倉時代は草や木の灰が肥料として使われ、室町時代になると、さらに牛馬の糞や堆肥もつかわれるようになった)→エ(江戸：「備中ぐわ」「千歯こき」より判断)

【問題】

鎌倉時代に農業の生産高が増えた。その理由を次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

- ア 惣(惣村)をつくり用水路を管理するなど、農民の結びつきが強まったから。
- イ 墾田永年私財法が出されたため、農地が増加したから。
- ウ 備中ぐわや千歯こきなどが使われるようになったから。
- エ 牛馬による耕作や麦を裏作とする二毛作が始まったから。

(和歌山県)

【解答欄】

--

【解答】エ

【解説】

イ(奈良：墾田永年私財法は743年)→エ(鎌倉後期～室町：「牛馬による耕作」「二毛作」より判断)→ア(室町：「惣」より判断)→ウ(江戸：「備中ぐわ」「千歯こき」より判断)

【問題】

室町時代のころの農村の様子について適切なものをア～エから1つ選び、記号を書け。

ア 綿や藍、紅花などの作物が栽培されるようになり、手工業に取り組む農家もあらわれた。

イ 二毛作が広まり、牛馬による農耕が各地に普及した。

ウ 田畑の収穫は石高で表され、耕地ごとに耕作者が定められた。

エ 備中ぐわや千歯こきが使われ始めた。

(富山県)

【解答欄】

【解答】イ

【解説】

イ(鎌倉後期～室町：「牛馬による農耕」「二毛作」より判断)→ウ(桃山：太閤検地が実施され、田畑の収穫は石高で表されるようになった)→エ(江戸：「備中ぐわ」「千歯こき」より判断)・ア(江戸：衣料の原材料は江戸初期に麻から綿へ転換し、綿作がさかんになった。また生糸の中国からの輸入禁止にともなって、国内の養蚕業もさかんにな絹織物業が発展し、藍・紅花などの染物作物の需要を大幅に増加させた。)

【問題】

室町時代の社会の動きについて述べた文として適切なものを、次のア～エから選べ。

ア 田畑の広さや収穫高を調べる検地が全国的に行われた。

イ 小作料の引き下げを求める小作争議がひんばんに起こった。

ウ 有力な農民の指導のもとで、惣とよばれる組織がつくられた。

エ 貴族・寺院や郡司などは、農民を使って開墾し、私有地を広げた。

(群馬県)

【解答欄】

【解答】ウ

【解説】

エ(奈良：墾田永年私財法(743年)が出されると、貴族・寺院などは農民を使って開墾し、私有地を広げたが、これが荘園の始まりである。)→ウ(室町：「惣」より判断)→ア(桃山：太閤検地)→イ(大正：大正デモクラシーの風潮の中で小作争議がひんばんに起こった)

[問題]

次のア～エのうち、江戸時代の農業に関して述べたものはどれか。その記号を書け。

- ア 牛馬による耕作が広まり、米と麦の二毛作がはじまった。
- イ 経済の民主化が進められ、農地改革が実施された。
- ウ 農具の改良がおこなわれ千歯こきが発明された。
- エ 稲作がはじまり、稲をたくわえる高床倉庫がつくられはじめた。

(広島県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

エ(弥生：「稲作がはじまり」「高床倉庫」より判断)→ア(鎌倉後期～室町：「牛馬による耕作」「二毛作」より判断)→ウ(江戸：「千歯こき」より判断)→イ(昭和(戦後)：農地改革で、地主から土地を強制的に買い上げて小作農に安く売った。)

[問題]

徳川吉宗のころ農村にも貨幣経済が広がっていったが、このころの農村の状況の説明として最も適切なものをア～エから1つ選び、符号で書け。

- ア 租・調・調の税，兵役の義務などの負担が重く，逃亡する者も出た。
- イ 土倉や酒屋などをおそい，借金の証文をうばう土一揆がおきた。
- ウ 農具や肥料などを購入し，綿・菜種などの商品作物を栽培した。
- エ 地租改正に反対して，大きな農民一揆が各地でおきた。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

徳川吉宗は江戸時代。

ア(奈良：「租・調・調の税」より判断)→イ(室町：「土倉」「酒屋」「土一揆」より判断)→ウ(江戸：肥料などを購入し，綿・菜種などの商品作物を栽培したのは江戸時代)→エ(明治：「地租改正」より判断)

[問題]

江戸に幕府が置かれていた時代の農村のようすについて述べた文として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 6歳以上の人々に口分田が与えられ、人々はその面積に応じて租を負担した。
- イ 海や沼地を干拓して新田が開発され、千歯こきなどの新しい農具が登場した。
- ウ 荘園に館を構えた武士は、土地の開発を進め、農民を使って農業を営んだ。
- エ 有力農民の指導のもとで、村ごとに惣とよばれる自治的な組織がつけられた。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア(奈良:「口分田」より判断)→ウ(平安後期～鎌倉:平安後期の摂関政治が行われていたころ、地方の政治が乱れたので、有力農民の中には自己の土地を守るために武装する者がでてきたが、これが武士の始まりである。彼らは国司による税の徴収をのがれるために、開発した土地を貴族や寺院に寄進した。藤原氏の摂関政治や上皇による院政を支えたのは、このようにして寄進された荘園である。)→エ(室町:「惣」より判断)→イ(江戸:「新田開発」「千歯こき」より判断)

[問題]

下のア～ウの文は、農業の方法について述べたものである。それぞれのできごとを年代の古いものから順に並べ、その符号を書け。

- ア トラクターなどの農業用機械が一般的に使われるようになった。
- イ 鉄製の農具を使って稲を刈り取る方法が行われるようになった。
- ウ 備中ぐわや千歯こきなどの農具が各地で使われるようになった。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]イ→ウ→ア

[解説]

イ(古墳～:弥生時代には石包丁を使って稲を収穫していたが、古墳時代には鉄の鎌が使われるようになった。)→ウ(江戸:「備中ぐわ」「千歯こき」より判断)→ア(昭和(戦後):「トラクター」より判断)

【】 土地制度・税制・農民統制

[問題]

次の A～E を時代の古い順に並べよ。

- A 租・調・庸などの税を負担するとともに、兵役の義務が課されていた。兵士として、都の警備や九州北部の防衛に派遣される者もあった。
- B 五人組の制度がつくられ、犯罪防止や年貢の納入に共同で責任を負った。やがて、自然災害などにより、生活に苦しむ者が増えていった。
- C 荘園領主に年貢を納めていたが、武士による支配を受けることも多くなった。農業生産力が高まり、市で農作物を売る者があらわれた。
- D 太閤検地により、直接田畑を耕作する者に対して、土地を所有する権利が認められた。一方で、刀狩が行われ武器が取り上げられた。
- E 惣とよばれる自治組織をつくり、寄合を開いて、村のおきてを定め、用水路の管理などを決めた。また、徳政令を求める一揆を起こすこともあった。

(山口県)

[解答欄]

[解答]A→C→E→D→B

[解説]

A(奈良：「租・調・庸の税」より判断)→C(鎌倉：地頭の設置により農民は荘園領主と武士の二重の支配を受けた)→E(室町：「惣」より判断)→D(桃山：「太閤検地」「刀狩」より判断)→B(江戸：「五人組」より判断)

[問題]

次のア～エの史料を時代の古いものから順に並べ、その符号を書け。

- ア 諸国の百姓が、刀・わきざし・弓・やり・鉄砲・そのほか武具の類をもつことをかたく禁止する。
- イ これまでの田畑に対する年貢納入法をやめて、地券調査を行ったのちは、土地の代価の百分の三を地租とする。
- ウ 百姓は五人組を決めておき、何事によらず五人組のうちで、御法度を犯す者などがいれば、その組からすみやかに申し上げること。
- エ 今後は、開墾した者の思いのままに私有地として認め、三世までとか一身の間とか言わないで、永久に公地として取り上げない。

(石川県)

[解答欄]

[解答]エ→ア→ウ→イ

[解説]

エ(奈良:墾田永年私財法 743 年)→ア(桃山:豊臣秀吉の刀狩)→ウ(江戸:「五人組」より判断)→イ(明治:地租改正 1873 年)

[問題]

次のア～エを年代の古い順に左から並べて、その記号を書け。

- ア 村ごとに惣とよばれる自治的な組織がつくられ、神社などで寄合を開いて、用水の使用や管理などについて、村のおきてを定めた。
- イ 農民は、土地の売買を禁止され米以外の作物の栽培を制限された。また、本百姓の中から庄屋・組頭・百姓代などの村役人が選ばれた。
- ウ 牛や馬を使って田畑を耕すことがさかんになり、草や木の灰が肥料として使われるようになった。また、西国では二毛作も広まった。
- エ 太閤検地がおこなわれ、農民は、土地を耕作する権利を認められたが、年貢を負担する義務も負うことになった。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]ウ→ア→エ→イ

[解説]

ウ(鎌倉:「牛馬耕、草木灰」「二毛作」より判断)→ア(室町:「惣」より判断)→エ(桃山:「太閤検地」より判断)→イ(江戸:「本百姓」「庄屋・組頭・百姓代などの村役人」より判断)

[問題]

次のア～ウを、できごとの起こった順に並べ、記号で答えよ。

- ア 国司は、一定の税を朝廷に納めれば、残りを自分の収入にすることができるようになり、国司の中には、できるだけ多くの税を取りたてようとするものもあらわれた。
- イ 新しく開墾した土地の私有が朝廷により認められ中央の貴族や寺社、地方の豪族などが私有地を広げることができるようになった。
- ウ 多くの荘園の寄進をうけた上皇が政治の実権を握るとともに、上皇に用いられた武士が大きな勢力を持った。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]イ→ア→ウ

[解説]

イ(奈良：墾田永年私財法 743 年)→ア(平安中期：摂関政治のころ国司は私腹を肥やすことのみ熱心で、地方の政治が乱れた。)→ウ(平安後期：上皇の院政を支えた経済的基盤は寄進された荘園からの年貢であった。)

[問題]

次の文は、税と農民のようすについて述べたものである。年代の古いものから順に記号を書け。

- ア 農民は生産高のほぼ半分を年貢として課せられ、年貢の納入などに共同責任をとらせる五人組の制度が設けられた。
- イ 農民は、税を納めるだけでなく雑徭とよばれる労役なども課せられた。そのため、労役の現場から逃亡する者や、税をのがれるために口分田を捨てて他の土地に移る者もいた。
- ウ 米の裏作に麦をつくる二毛作が広まるなどし、農業生産は高まったが、農民の中には、荘園領主に納める年貢と地頭から課せられる労役の二重の負担に苦しむ者もあった。

(大阪府)

[解答欄]

--

[解答]イ→ウ→ア

[解説]

イ(奈良：「雑徭」「口分田」より判断)→ウ(鎌倉：「荘園領主と地頭の二重支配」ということより判断)→ア(江戸：「五人組」より判断)

[問題]

農村や農民のようすをのべた次の①～③の文は、それぞれ[奈良・平安・鎌倉・南北朝・室町・安土桃山・江戸・明治]のどの時代か。

- ① 千歯こきなどの農具が発明されるとともに、商品作物の栽培が行われた。
- ② 地価を定め、その 3%の税を納める制度が定められた。
- ③ 戸籍に基づいて、口分田が支給されたが、様々な税や労役に苦しんだ。

(岡山県)

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 江戸 ② 明治 ③ 奈良

【解説】

③(奈良：「口分田」より判断)→①(江戸：「千箇こき」より判断)→②(明治：地租改正で、税の算出基準はそれまでの収穫高から地価に変わった。)

【問題】

奈良時代の農民の負担として正しいものを、次のア～エから1つ選んで記号で書け。

- ア 石高の10分の4から10分の5を年貢として負担した。
- イ 土地の所有者が地価の3%を現金で支払った。
- ウ 租・調・庸などのほか、兵役の義務を負った。
- エ 年貢を荘園領主や地頭に納めた。

(福井県)

【解答欄】

【解答】ウ

【解説】

ウ(奈良：「租・調・庸」より判断)→エ(鎌倉：この時代の農民は荘園領主と地頭の二重の支配を受けていた)→ア(桃山・江戸：「石高」より判断)→イ(明治：地租改正で地価の3%を現金で納入するようになった。)

【問題】

平安時代の農村のようすを述べた文として、最も適当なものはどれか、下のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 戸籍の制度や班田収授が行われなくなり、地方の政治は国司にまかせきりになった。
- イ 農家5～6戸で組織された五人組が、年貢の納入や犯罪の防止に共同責任を負った。
- ウ 土地の所有者は、地価の3%にあたる額を地租として、貨幣で納めることとなった。
- エ 経済力をたくわえた農民は、惣とよばれる自治組織をつくり、村のおきてを定めた。

(三重県)

【解答欄】

【解答】ア

【解説】

ア(平安中期：摂関政治のころ地方の政治は国司にまかせきりになり、政治が乱れた)→エ(室町：「惣」より判断)→イ(江戸：「五人組」より判断)→ウ(明治：地租改正で地価の3%を現金で納入するようになった。)

[問題]

次のア～エは、税に関することについて述べたものである。このうち、鎌倉～明治時代の期間にあたるものを3つ選び、時代の古い順に書け。

- ア 太閤検地を行い、石高に応じて年貢を納めさせた。
- イ 租・庸・調などの負担が始まった。
- ウ 株仲間を認め営業を独占させる代わりに税を納めさせた。
- エ 地頭が年貢の取り立てを行った。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]エ→ア→ウ

[解説]

イ(奈良：「租・庸・調」より判断)→エ(鎌倉：「地頭」より判断)→ア(桃山：「太閤検地」より判断)→ウ(江戸：「株仲間」より判断)

[問題]

鎌倉時代の農民について述べた文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書け。

- ア 農民は、五人組に組み込まれ、衣類や食べ物などの日常生活も規制された。
- イ 農民は、戸籍に基づき口分田を与えられ、租・庸・調を負担した。
- ウ 農民は、武器をとりあげられ、農民と武士の身分がはっきりと分けられた。
- エ 農民は、年貢だけでなく、地頭からさまざまな負担をかけられることもあった。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

イ(奈良：「口分田」「租・庸・調」より判断)→エ(鎌倉：「地頭」より判断)→ウ(桃山：豊臣秀吉が行った刀狩)→ア(江戸：「五人組」より判断)

[問題]

室町時代には、各地で土一揆が起こった。このころの農民のようすとして最も適切なものを、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

ア 領主や代官に、武装して反抗する百姓一揆が増え、都市でも打ちこわしが起こった。

イ 寄合によって、共有地の利用、用水の配分、村のおきてを定めるなどの自治を行った。

ウ 小作農民が、地主に対して、小作料の減額などを要求する小作争議を起こした。

エ 有力な農民は、口分田をすてて逃亡してきた農民を働かせ、荒れ地の開墾を進めた。

(奈良県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

エ(奈良：743年の墾田永年私財法が出され、有力な農民は、口分田をすてて逃亡してきた農民を働かせ、荒れ地の開墾を進めた。)→イ(室町：「寄合」より判断)→ア(江戸：「代官」「百姓一揆」「打ちこわし」より判断)→ウ(大正：「小作争議」より判断)

[問題]

豊臣秀吉の行った農業にかかわる政策について述べた文として正しいものを次から1つ選び、記号を書け。

ア 農家5～6戸を一組にまとめた五人組をつくった。

イ 備中ぐわの使用や新田開発を奨励して耕地面積を増大させた。

ウ 全国規模で検地を行い、田畑の広さや収穫高、耕作者などを調べた。

エ 惣とよばれる自治的な組織をつくり、農業用水の管理などを行った。

(大阪府)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]エ(室町：「惣」より判断)→ウ(桃山：豊臣秀吉の太閤検地)→イ(江戸：「備中ぐわ」より判断)・ア(江戸：「五人組」より判断)

[問題]

江戸時代の農民について述べているものを、次のア～エから1つ選べ。

- ア 租庸調の負担や兵役の義務を負わされていた。
- イ 年貢軽減などを要求する百姓一揆を起こした。
- ウ 荘園領主と地頭との二重の支配を受けていた。
- エ 惣の結成を進めるとともに土一揆も起こした。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ア(奈良：「租庸調」より判断)→ウ(鎌倉：「荘園領主と地頭との二重の支配」より判断)→エ(室町：「惣」「土一揆」より判断)→イ(江戸：「百姓一揆」より判断)

[問題]

江戸時代の社会の様子を表しているものを、すべて選んで記号を書け。

- ア 農民は戸籍に登録され、租などが課せられた。
- イ 農民の納める年貢が幕府や藩の財政を支えた。
- ウ 武士と農工商の間に身分の上下が設けられた。
- エ 武士は地頭として荘園の土地や農民を支配した。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]イ，ウ

[解説]

ア(奈良：「租」より判断)→エ(鎌倉：「地頭」より判断)→イ(江戸：「藩」より判断)・ウ(江戸：「武士と農工商」より判断)

[問題]

江戸幕府が行った政策の説明として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

ア 土地の面積を調査し、地価を定めてその3%を地租として現金で納めさせた。

イ 貿易を認めた船には勘合を与えて、中国や琉球王国との貿易をさかんに行った。

ウ 商工業を発展させるために、関所を廃止して交通を自由にし、楽市・楽座を行った。

エ 年貢を安定して取るために、農民の生活に細かい指示を出し、五人組をつくらせた。

(佐賀県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

イ(室町：「勘合」より判断)→ウ(安土：「楽市・楽座」より判断)→エ(江戸：「五人組」より判断)→ア(明治：「地租」より判断)

[問題]

明治時代の農村や農民に関することがらとして、最も関係の深いものを次から1つ選べ。

[地租改正 財閥解体 刀狩 荘園]

(沖縄県)

[解答欄]

[解答]地租改正

[解説]

荘園(奈良・平安・鎌倉)→刀狩(桃山)→地租改正(明治)→財閥解体(昭和(戦後))

[問題]

太閤検地が行われた後の社会のようすを述べているのはどれか、次から1つ選べ。

ア 地頭が荘園におかれた。

イ 石高に応じて年貢が納められた。

ウ 租・調・庸の税が課せられた。

エ 惣という自治組織がつけられた。

(福岡県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

ウ(奈良：「租・調・庸」より判断)→ア(鎌倉：「地頭」より判断)→エ(室町：「惣」より判断)→
イ(桃山・江戸：「石高」より判断)

【】 古代～近世の商工業・諸産業

【問題】

古墳がつくられた時代について述べたものを、次のア～エの中から1つ選んで、その記号を書け。

- ア 鉄砲など、西洋の新しい技術が伝えられた。
- イ 座禅によってさとりを開く禅宗が伝えられた。
- ウ 稲作が広がり、青銅器や鉄器も伝えられた。
- エ 須恵器とよばれる土器をつくる技術が伝えられた。

(茨城県)

【解答欄】

【解答】エ

【解説】

ウ(弥生)→エ(古墳：「須恵器」より判断。須恵器は1000度以上の高湿で焼かれた硬質の陶質土器。5世紀、大陸伝来の新技術により、ろくろを使ってつくられた。)→イ(鎌倉：「禅宗が伝えられた」より判断)→ア(戦国：鉄砲は1543年にポルトガル人によって伝えられた。)

【問題】

和同開珎がつくられたころの取引などのようすについて述べた文として最も適当なものを、次のア～エの中から選んで、そのかな符号を書け。

- ア 物価を引き下げのために株仲間が解散され、商人の自由な取引が認められた。
- イ 農村にも市ができるようになり、取引には宋でつくられた貨幣が使用された。
- ウ 幕府が貨幣をつくる権限などを独占し、金貨、銀貨、銅銭をつくって全国に流通させた。
- エ 都である平城京の中に市がおかれ、各地から送られてきた産物が売買された。

(愛知県)

【解答欄】

【解答】エ

【解説】

和同開珎は奈良時代のころ。

エ(奈良：「平城京」より判断)→イ(鎌倉：宋の時代の日本は平安後期～鎌倉。宋は元によって滅ぼされた。日本で宋銭が流通したのは12世紀後半から鎌倉時代にかけてである。)→ウ(江戸)→ア(江戸後期：水野忠邦の天保の改革1841年)

[問題]

南北朝の争乱後には、社会が安定するとともに、様々な産業もさかんになった。次のア～エのうち、室町時代の商業について述べているものを1つ選び、その記号を書け。

- ア 太閤検地や刀狩などにより兵農分離が進められ、商人や職人は城下町に集められた。
- イ 問屋や仲買などの大商人が、株仲間という同業者組合をつくり、大きな利益をあげた。
- ウ 都の市では、各地から送られてきた産物が売買され和同開珎という貨幣が発行された。
- エ 商品の売買には明から輸入した銅銭が使われはじめ、定期市の開催日数も増えていった。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

ウ(奈良：「和同開珎」より判断)→エ(室町：「明」「定期市の開催日数も増えて」より判断。月に3日開かれる定期市は鎌倉時代に始まったが、室町時代には月に6回開かれるようになった。)→ア(桃山：「太閤検地」「刀狩」より判断)→イ(江戸：「株仲間」より判断)

[問題]

室町時代における商工業の発達の様子を表した文として最も適当なものはどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書け。

- ア 商人や手工業者は、同業者ごとに座とよばれる団体をつくり製造や販売を独占した。
- イ 海運が発達し、江戸と大阪を結ぶ太平洋沿岸の航路に、定期船が往復するようになった。
- ウ 平城京の市では、各地の産物が売買され、和同開珎という貨幣も発行された。
- エ 問屋・仲買などの商人が、株仲間という同業組織をつくり、営業を独占した。

(三重県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

ウ(奈良：「和同開珎」「平城京」より判断)→ア(室町：「座」より判断)→イ(江戸：「定期船」より判断)・エ(江戸：「株仲間」より判断)

[問題]

紀伊国(和歌山県)の阿氏河荘の農民は、地頭が荘園の慣習を無視して新しい負担を課したので、集団で村をはなれるなどして抵抗した。右の資料は、このころの市の絵である。この時期の市について、あてはまるものを次のア～エの中から1つ選べ。



- ア 農業や手工業の生産力が高まり、寺社の門前や交通の便利なところで市が開かれるようになった。
- イ 商工業の発展をはかるため、楽市・楽座の政策がとられ市場の税が免除された。
- ウ 市が広く各地に生まれ、開催日数が増加し、取引に宋銭や明銭などが多く使用されるようになった。
- エ 唐の貨幣にならって和同開珎が発行され、都の市では、各地から送られてきた産物が売買された。

(福島県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

「地頭」とあるので鎌倉時代と判断できる。

エ(奈良:「和同開珎」より判断)→ア(鎌倉:農業や手工業の生産力が高まり、定期市が開かれるようになったのは鎌倉時代)→ウ(室町:「明銭」より判断)→イ(安土:「楽市・楽座」より判断)

[問題]

勘合貿易のころの産業のようすについて述べたものは次のどれか。

- ア 京都などでは、土倉や酒屋が高利で金貸しをおこなった。
- イ 西廻り航路、東廻り航路が開かれ海上の輸送が発達した。
- ウ 株仲間とよばれる独占的な同業者組合が成立した。
- エ 民間の資金で大阪紡績会社などが設立され綿糸を作る紡績業が発達した。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

勘合貿易は室町時代。

ア(室町：「土倉や酒屋」より判断)→イ(江戸：「西廻り航路，東廻り航路」より判断)・ウ(江戸：「株仲間」より判断)→エ(明治：「大阪紡績会社」より判断)

[問題]

我が国の中世の流通に関する説明として，最もよくあてはまるのは，ア～エのうちではどれか。

- ア 西廻り航路などの海上輸送路が整えられた。
- イ 富本銭や和同開珎という貨幣が発行された。
- ウ 商品の流通・販売は，株仲間によって独占されていた。
- エ 中国から輸入された貨幣が，取引に広く使用された。

(岡山県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

中世は鎌倉時代と室町時代。

イ(奈良：「富本銭や和同開珎」より判断)→エ(鎌倉・室町：鎌倉時代は宋銭，室町時代は主として明銭が使われた)→ア(江戸：「西廻り航路」より判断)・ウ(江戸：「株仲間」より判断)

[問題]

右の図は，ア～エのどの時代のものか。

- ア 飛鳥時代～平安時代
- イ 鎌倉時代～室町時代
- ウ 戦国時代～江戸時代
- エ 明治時代～大正時代

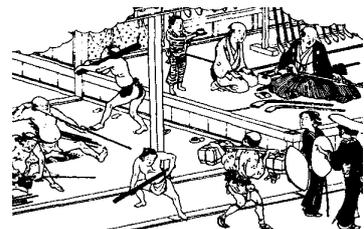
(福井県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

右図の中の鉄砲に注目する。鉄砲は戦国時代の1543年にポルトガル人によって伝えられ，やがて堺などでもつくられるようになった。



[問題]

江戸時代の商業や流通について述べた文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書け。

- ア 土倉や酒屋とよばれる金融業者や、専門の運送業者が活躍した。
- イ 港が整備され宋との貿易がすすめられた。
- ウ 航路や街道などの交通路が整備され株仲間もつくられた。
- エ 産業革命の進展にともない、財閥が成長した。

(兵庫県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

イ(平安末期：平清盛は兵庫の港を整備して宋との貿易を行った)→ア(室町：「土倉や酒屋」より判断)→ウ(江戸：「株仲間」より判断)→エ(明治：「産業革命」「財閥」より判断)

[問題]

江戸時代の産業や社会の様子として、誤っているものはどれか。

- ア 飢饉のときや年貢が引き上げられたときなどに、農民が団結し百姓一揆をおこした。
- イ 近畿地方では、稲のあとに裏作として麦を栽培する二毛作が始まった。
- ウ 大阪は、全国から米などの産物が運びこまれ、商業の中心地として発展した。
- エ 都市では、商人や手工業者が株仲間という同業者の組織をつくった。

(神奈川県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イは鎌倉時代。

[問題]

日本における鉄の役割を述べた文として、誤っているものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

ア 弥生時代に青銅器とともに大陸から日本に伝えられ、武器や工具として利用された。

イ 古墳時代には鉄製の刀剣が権力の象徴として使われ多くの古墳に納められた。

ウ 鎌倉時代には農村にも鍛冶屋が広がり、鉄製農具が普及して農業生産が高まった。

エ 戦国時代に鉄砲が伝来したが、江戸時代まで国内生産は難しくほとんどが輸入された。

(宮城県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

エが誤り。1543年、ポルトガル人が種子島に鉄砲を伝えた。まもなく鉄砲は、全国の戦国大名らに広まり、堺などで大量につくられるようになった。

【】 明治以降の産業・経済

【問題】

次のア～ウは、幕末・明治・大正の時期におけるわが国の貿易の特色と、その貿易にかかわる社会の様子について述べた文である。ア～ウを年代の古いものから順に並べ、記号を書け。

ア 生糸や綿糸，綿織物の輸出が増加し，かつてない好景気がおとずれた。

イ 生糸，茶が輸出品の大部分をしめ，品不足や値上がりなどの混乱がおこった。

ウ 生糸や綿糸の輸出が増加し，製糸・紡績などの軽工業を中心に産業革命が進展した。

(秋田県)

【解答欄】

【解答】イ→ウ→ア

【解説】

イ(幕末)→ウ(明治)→ア(大正)

【問題】

年代の古い順に左から並べて，その記号を書け。

ア 世界恐慌によって日本経済は大きな打撃を受け，深刻な不況にみまわれた。

イ シベリア出兵による米の買いしめから米価がはね上がり，米騒動が全国に広がった。

ウ 官営模範工場をつくるなど，近代産業を育てるための殖産興業政策が進められた。

エ 朝鮮戦争での軍需物資の調達がおこなわれ，特需景気とよばれる好景気をむかえた。

(茨城県)

【解答欄】

【解答】ウ→イ→ア→エ

【解説】

ウ(明治初期：「官営模範工場」「殖産興業政策」より判断)→イ(大正：「シベリア出兵」「米騒動」より判断)→ア(昭和(戦前)：「世界恐慌」より判断)→エ(昭和(戦後)：「朝鮮戦争」より判断)

[問題]

1900～1920年の時期のできごとについて述べているのは、下のア～エのうちではどれか。

- ア 世界恐慌の影響により失業者が増大するなど、経済が深刻な打撃を受けるなかで、重要な美術品の海外流出をきっかけに、美術品を保護する政策が進められた。
- イ 第一次世界大戦により物価が上昇し、米騒動が全国に広がるなど人々の生活に影響を与えた一方、経済的に豊かになった人々のなかには、美術品の収集をさかんに行う者もあらわれた。
- ウ 高い経済成長が続き、重化学工業がさかんになるなど、産業構造が変化するなかで、工芸品を製作する産業では、後継者や原材料の確保が難しくなるなどの課題が生まれた。
- エ 富国強兵を目ざして、殖産興業政策が進められるなかで、輸出されたわが国の工芸品などはヨーロッパで高い評価を受けた。

(東京都)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

エ(明治初期:「富国強兵」「殖産興業」より判断)→イ(大正:「第一次世界大戦」1914年,「米騒動」1918年より判断)→ア(昭和:「世界恐慌」1929年より判断)→ウ(昭和(戦後):「高い経済成長」より判断)

[問題]

大正時代の国内のようすについて述べたものとして最も適当なものはどれか、ア～エから1つ選べ。

- ア 日米修好通商条約などが結ばれ大量の生糸・茶などが日本から外国へ輸出され始めた。
- イ 紡績業・製糸業などの軽工業から産業革命が始まり、官営の八幡製鉄所が操業を開始した。
- ウ 好景気のなか、シベリア出兵を見こした商人たちによって米の買い占めがおこなわれた。
- エ アメリカから広がった世界恐慌が日本経済にも大きな打撃を与え、深刻な不況にみまわれた。

(京都府)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

ア(幕末：日米修好通商条約 1858 年)→イ(明治：八幡製鉄所の操業開始 1901 年)→ウ(大正：シベリア出兵 1918 年)→エ(昭和：世界恐慌 1929 年)

[問題]

次のア～エのうち、大正初期のころのわが国のできごとについて述べているものはどれか。1 つ選び、その記号を書け。

- ア アメリカや中国への生糸や綿糸・綿織物の輸出が急増し、大戦景気とよばれた。
- イ 政府は官営の製糸場をつくり、近代産業の育成をめざして殖産興業を進めた。
- ウ 開国によって生糸や茶が輸出されると、国内は品不足や値上がりなどで混乱した。
- エ わが国の不景気は世界恐慌の影響でさらに深刻になり、生糸の輸出も減少した。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

ウ(幕末：「開国」より判断)→イ(明治初期：「官営の製糸場」「殖産興業」より判断)→ア(大正：第一次世界大戦が始まると、アメリカ向けの生糸や中国向けの綿糸・綿織物の輸出が急増した。)→エ(昭和：「世界恐慌」より判断)

[問題]

太平洋戦争のころの国内の様子について正しく述べたものを、次のア～エから 1 つ選び、記号で答えよ。

- ア 産業や経済を支配してきた財閥が解体された。
- イ 関東大震災がおこり、東京や横浜などの地域が大きな被害を受けた。
- ウ 米などの生活必需品が配給制となった。
- エ 政府に不満をもつ士族たちが各地で反乱をおこした。

(山形県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

エ(明治初期：西南戦争 1877 年)→イ(大正：「関東大震災」より判断)→ウ(昭和(戦前・戦中)：「配給制」より判断)→ア(昭和(戦後)：「財閥が解体され」より判断)

[問題]

1964年には東京でオリンピックが開かれた。1960年代のわが国の様子について述べているのはどれか。

- ア 朝鮮戦争によって大量の軍需物資が注文され、経済が活気づいた。
- イ 大戦景気をむかえ、海運業が発展するとともに工業製品を中心に輸出が急増した。
- ウ オートメーションなどの技術革新が進み、高度経済成長が進展した。
- エ GHQの指令を受け、経済を支配してきた財閥の解体が進められた。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

イ(大正：「大戦景気」より判断)→エ(昭和(戦後)：財閥解体 1945年)→ア(昭和(戦後)：朝鮮戦争 1950年)→ウ(昭和(戦後)：高度経済成長は 1955年～1974年)

[問題]

次のア～エのことがらを、年代の古いものから順に並べ、その記号を書け。

- ア 財閥解体が実施される。
- イ 国民総生産が資本主義諸国の中で第2位になる。
- ウ 高度経済成長が始まる。
- エ 重工業を中心に産業革命が達成される。

(高知県)

[解答欄]

[解答]エ→ア→ウ→イ

[解説]

エ(明治後期：「産業革命」より判断)→ア(昭和(戦後)：財閥解体 1945年)→ウ(昭和(戦後)：高度経済成長は 1955年～1974年)→イ(昭和(戦後)：国民総生産が資本主義諸国の中で第2位になったのは 1968年)

[問題]

第二次世界大戦後の経済の動きに関する次のア～オを年代の古い順に並べよ。

- ア バブル経済が崩壊し、長い不況の時期を迎えた。
- イ 小作農に安く土地をゆずりわたすなどの農地改革が始まった。
- ウ 中東でおきた戦争の影響で、石油危機が発生した。
- エ 朝鮮戦争がきっかけとなり、わが国の経済状況は上向いた。
- オ 高度経済成長の時期を迎え、重化学工業が発展した。

(長崎県)

[解答欄]

[解答]イ→エ→オ→ウ→ア

[解説]

イ(財閥解体 1945 年・農地改革 1946 年など敗戦後 GHQ の指示による経済の民主化)→エ(朝鮮戦争 1950 年による特需景気)→オ(高度経済成長の始まりは 1955 年ごろ)→ウ(石油危機 1973 年で高度経済成長が終わる)→ア(1980 年代後半にバブル経済, 1990 年代にバブルの崩壊)

[問題]

次のうち、東海道新幹線が開通したころの社会のようすについて述べた文として最も適当なものはどれか、ア～エから 1 つ選べ。

- ア 高度経済成長の時期であり、電気冷蔵庫や洗濯機などが普及した。
- イ 石油危機がおこり、石油ばかりでなく日用品も値上がりした。
- ウ 環境基本法が制定され総合的に環境問題に取り組むようになった。
- エ 財閥解体や農地改革が行われ経済面の民主化が進められた。

(京都府)

[解答欄]

[解答]ア

[解説]

エ(財閥解体 1945 年・農地改革 1946 年)→ア(高度経済成長は 1955 年～1974 年)・(東京オリンピック 1964 年)→イ(石油危機 1973 年)→ウ(環境基本法 1993 年)

【FdData 入試版のご案内】

詳細は、[\[FdData 入試ホームページ\]](#)に掲載 ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

姉妹品：[\[FdData 中間期末ホームページ\]](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆印刷・編集

この PDF ファイルは、FdData 入試を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないように設定しております。製品版の FdData 入試は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 入試の特徴

FdData 入試は、公立高校入試問題の全傾向を網羅することを基本方針に編集したワープロデータ(Word 文書)です。入試理科・入試社会ともに、過去に出題された公立高校入試の問題をいったんばらばらに分解して、細かい單元ごとに再編集して作成しております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の Word 文書を PDF ファイルに変換したもので印刷や編集はできませんが、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。

しかし、FdData 入試がその本来の力を発揮するのは印刷や編集ができる製品版においてです。また、製品版は、すぐ印刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」の 3 形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

※[FdData 入試の特徴\(QandA 方式\)](#) ([Shift]+左クリック→新規ウィンドウ)

◆FdData 入試製品版(Word 版)の価格(消費税込み)

※以下のリンクは[Shift]キーをおしながら左クリックすると、新規ウィンドウが開きます

[社会地理](#)、[社会歴史](#)、[社会公民](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

[理科 1 年](#)、[理科 2 年](#)、[理科 3 年](#)：各 6,800 円(統合版は 16,200 円) ([Shift]+左クリック)

※Windows パソコンにマイクロソフト Word がインストールされていることが必要です。(Mac の場合はお電話でお問い合わせください)。

◆ご注文は、メール(info2@fdtext.com)、または電話(092-811-0960)で承っております。

※[注文→インストール→編集・印刷の流れ](#) ([Shift]+左クリック)

※[注文メール記入例](#) ([Shift]+左クリック)

【Fd 教材開発】 Mail : info2@fdtext.com Tel : 092-811-0960